

**小金井市子どもの遊び場等整備事業支援委託
WEBアンケート結果について**

目次

1. 実施概要	1
2. 子どもの回答結果	2
2.1 回答者の属性	2
2.2 回答結果	3
3. 大人の回答結果	9
3.1 回答者の属性	9
3.2 回答結果	10
4. 自由意見の整理	36
4.1 公園に関する自由意見（良いところや悪いところなど）	36

1. 実施概要

(1) 目的

インクルーシブデザインに配慮した公園の整備にむけて、現在、子どもたちが公園で遊ぶ上で抱える課題や、将来の公園についての、あらゆる子どもたちの考えを収集するために、アンケート調査を実施する。

(2) 調査対象

市内在住・在学・在園の高校生までの子ども、特別支援学校に通学する子どもとその保護者及び学校関係者、市内在住・在勤の方

(3) 調査方法

WEB 調査 (Google フォーム)

(4) 実施期間

令和6年(2024年)2月13日～3月12日

(5) 使用言語

日本語、英語、中国語、韓国語

(6) 周知・PR方法

- ①市内小学校等への案内の配布
- ②市ホームページへの掲載
- ③みんなの公園会議、公園事例視察等参加者(申込者)へのメール

(7) 内容

1) 情報提供

- ・ みんなの公園会議+事例視察の動画(数分)
- ・ みんなの公園会議 結果概要資料
- ・ 公園視察ツアー 結果概要資料

2) アンケート設問の種類

子どもと大人それぞれに以下の内容について回答を集めた。

- ・ 回答者の属性
- ・ インクルーシブについて
- ・ 公園について

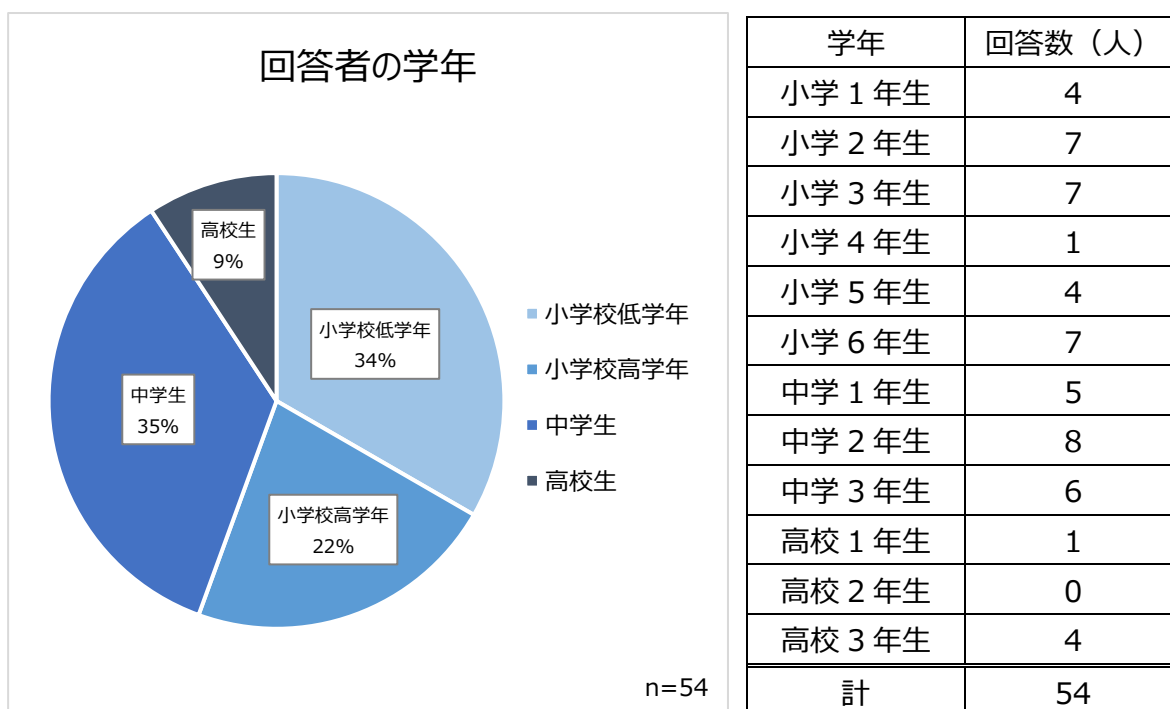
(8) 回答数 169人(子ども:54人、大人:115人)

- ・ 日本語版:160人(子ども:48人、大人:112人)
- ・ 英語版:6人(子ども:3人、大人:3人)
- ・ 中国語版:3人(子どものみ)
- ・ 韓国語版:なし

2. 子どもの回答結果

2.1 回答者の属性

- ・ 子どもの回答者の合計 54 人のうち、小学校低学年が 3 割強（18 人）、小学校高学年が 2 割強（12 人）、中学生が 3 割強（19 人）と一定数回答があった。
- ・ 高校生は 5 人と回答数が少なくクロス集計の際には比較が難しいため、以降、中学生以上の分類で比較することとする。
- ・ 特別支援学校の方が 3 人、外国の方（外国語で回答された方を含む）が 7 人だった。*



※「特別支援学校の方」と回答した人：小学 3 年生 2 人、小学 6 年生 1 人

日本語版アンケートで「外国の方」と回答した人：小学 2 年生 1 人

英語版アンケートの回答者：小学 2 年生、5 年生、6 年生 各 1 人

中国語版アンケートの回答者：小学 1 年生、4 年生、6 年生 各 1 人

2.2 回答結果

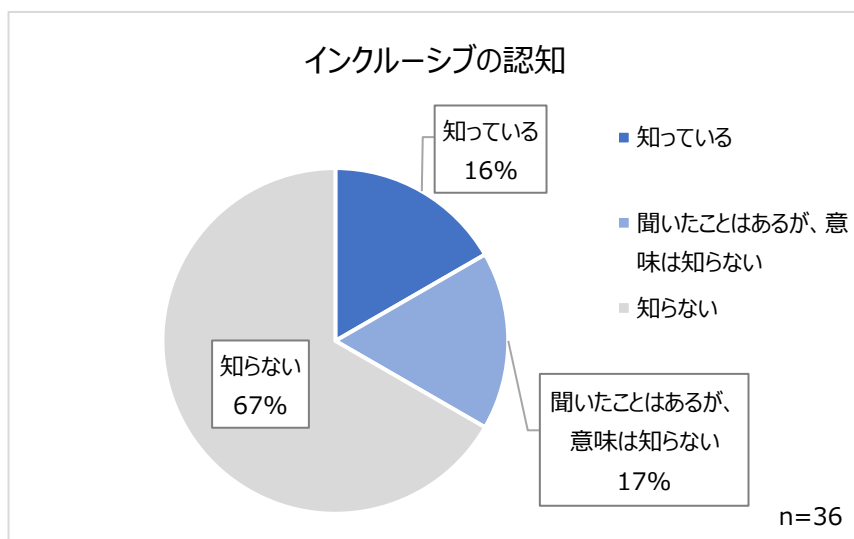
(1) インクルーシブについて

Q. 障がいや年齢、国籍や性別などを問わずお互いを認め合い、排除されないといった意味で使われている「インクルーシブ」という言葉を知っていますか。

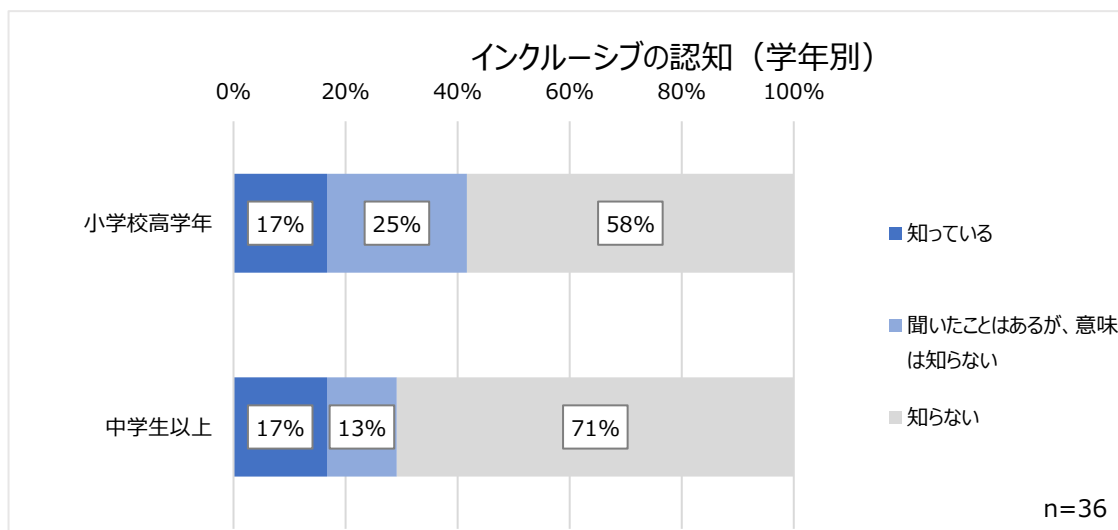
※小学校高学年以上が対象（計36名）

- ・ 「インクルーシブ」という言葉を知らない人が 7 割弱と、**回答者の過半数以上が知らなかった。**
- ・ 「インクルーシブ」の意味を知っている人は 2 割弱にとどまった。
- ・ 年齢層で比較すると、中学生以上の方がやや「知らない」の回答割合が高いが、際立った差は見られない。

〈全体〉



〈学年による比較〉



※参考

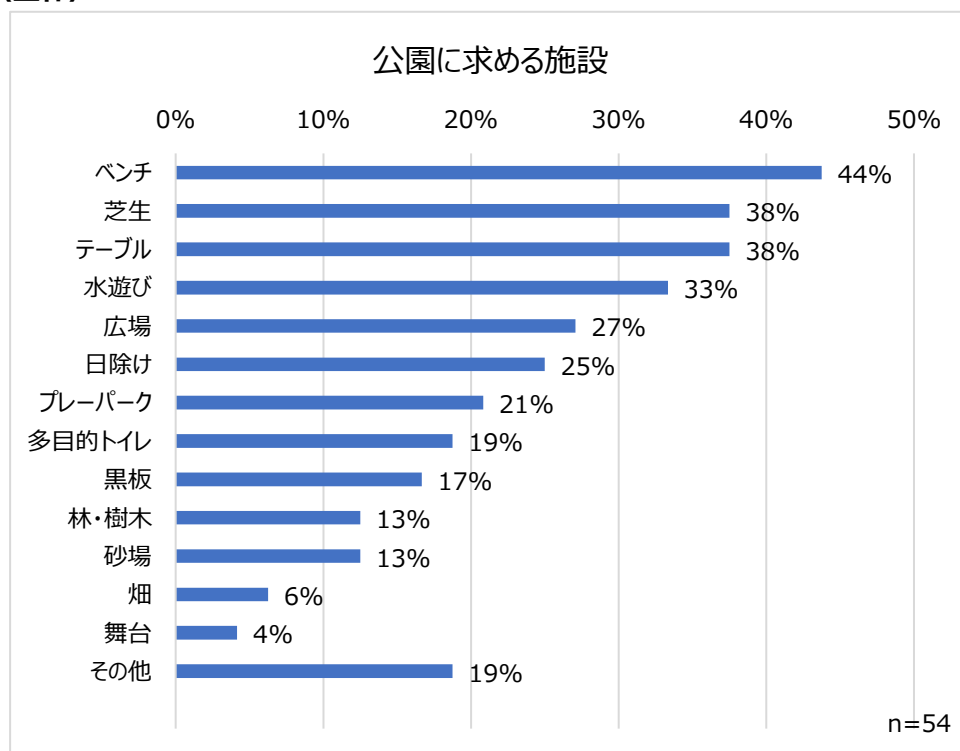
	結果（複数回答数）
特別支援学校の生徒（n=1）	知っている
外国の方（n=4）	知っている、聞いたことはあるが意味は知らない、知らない（2）

(2) 公園に求める施設について

Q. どんな遊び場や居場所があれば、公園にもっと行きたくなるか教えてください（3つまで）

- ・ 「ベンチ」、「芝生」、「テーブル」、「水遊び」、「広場」が上位5つの回答であった。
- ・ そのうち、「水遊び」は学年が低いほど回答率が高く、「ベンチ」「テーブル」は学年が高いほど回答率が高い。「芝生」も中学生以上で高く、小学校高学年より低学年が高く回答していた。
- ・ 「広場」は中学生上の半数が回答している一方、小学生は1割にとどまった。「日除け」も似た傾向があった。
- ・ 「プレーパーク」「多目的トイレ」「舞台」はいずれも小学校低学年の回答率が高い傾向があった。
- ・ 「黒板」「林・樹木」「砂場」「畑」は小学校高学年の回答率がやや高かった。
- ・ **小学校低学年は、五感を使ってのびのびと遊べる場（水遊び、芝生、プレーパークなど）、小学校高学年は、より多様な遊びの展開（黒板、樹木、砂場、畑など）、中学生以上は滞留できる空間（ベンチ、テーブル、芝生、広場、日よけなど）を求めていることが推察される。**

〈全体〉

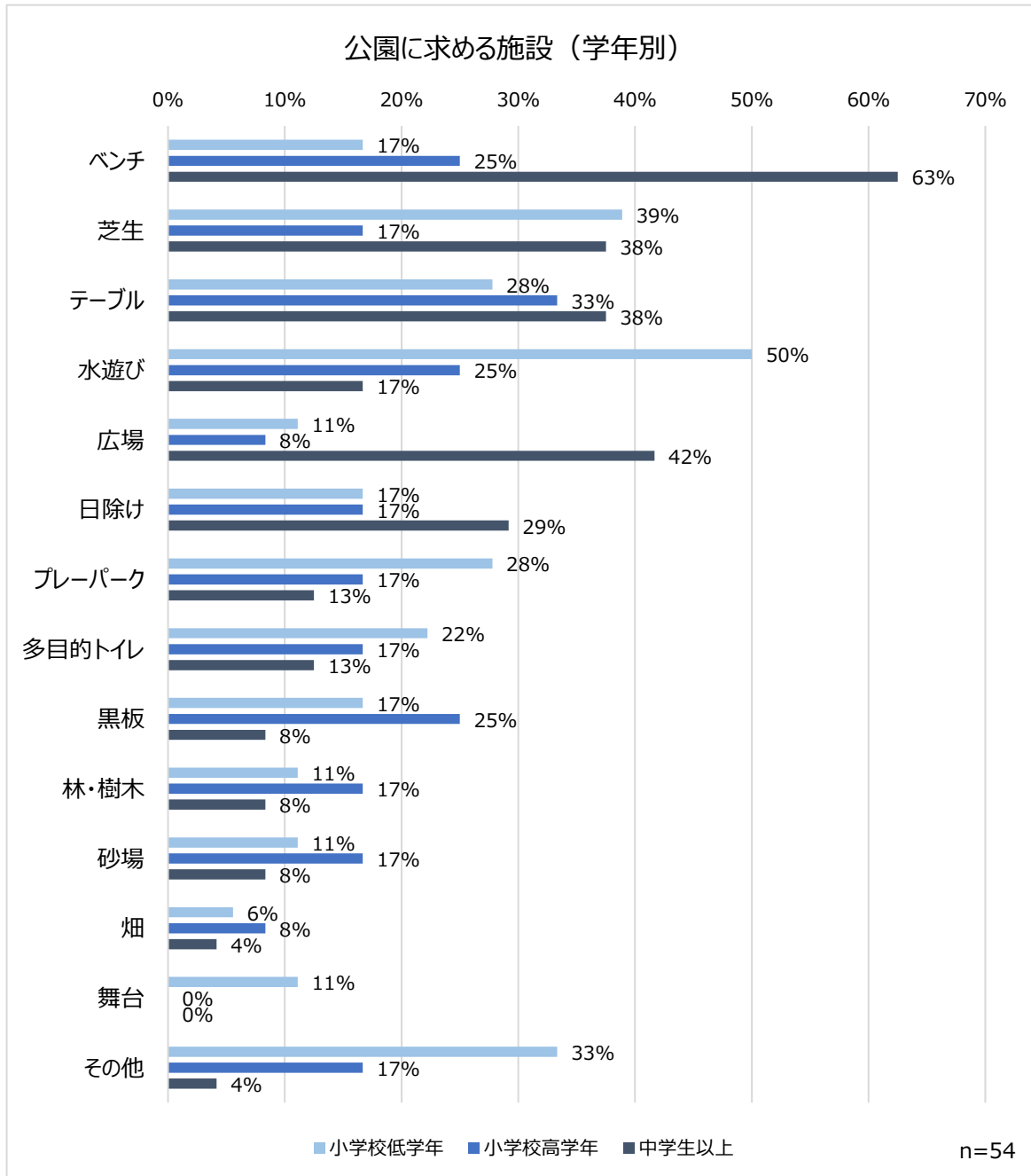


〈その他意見・要望〉

意見・要望

- ・ サッカーゴール
- ・ サッカーボールがけれる場所
- ・ ジップライン
- ・ とらんぼりん
- ・ ボール遊び楽しすぎる
- ・ 鬼ごっこやかくれんぼなどがたくさんできて楽しい場所
- ・ 小さな子と別に出来る場所
- ・ 沢山の遊具（取り合いになるため）
- ・ 池がある、稚魚や鴨がいる

〈学年による比較〉



※参考

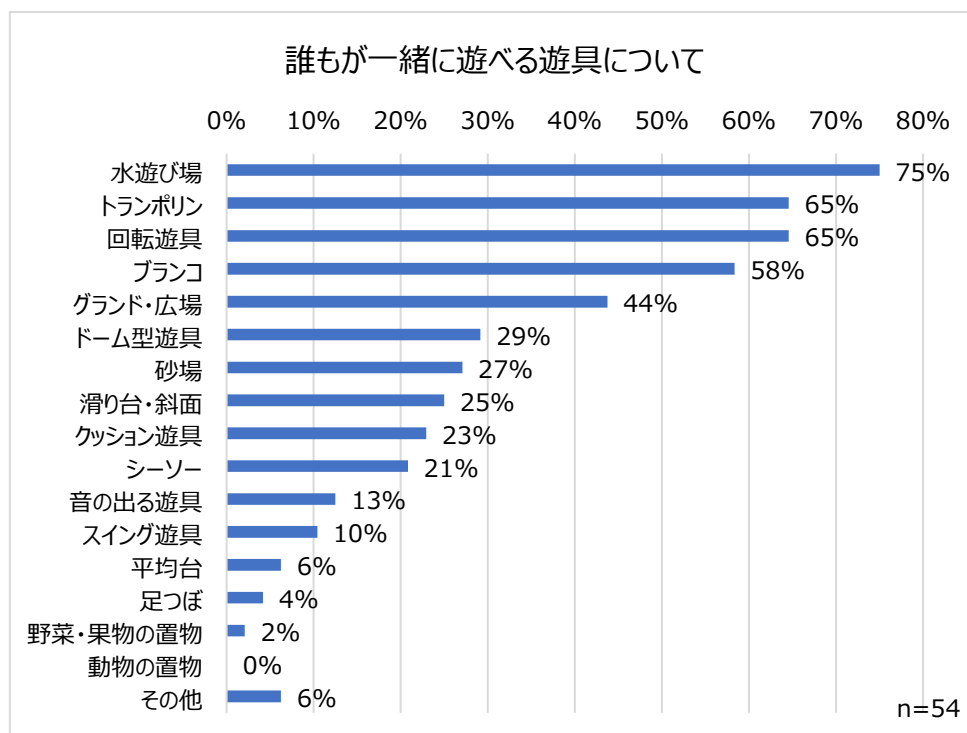
	結果（複数回答数）
特別支援学校の生徒（n=3）	水遊び（2）、多目的トイレ、プレーパーク、その他（2）
外国の方（n=7）	テーブル（6）、砂場（3）、水遊び（2）、畑（2）、ベンチ（2）、日除け、芝生、黒板

(3) 誰もが一緒に遊べる遊具について

Q. 誰もが一緒に遊べる遊具をつくる場合、どんな遊具があったらいいか教えてください（5つまで）

- ・ 「水遊び場」の回答率が8割弱と最も高く、いずれの年齢層でも同様に回答率が高いことから、**「水遊び場」は誰もが一緒に遊べる遊び場と年齢によらず認識されていると考えられる。**
- ・ 次いで、「トランポリン」「回転遊具」「ブランコ」が6割前後の回答率があり、**低学年の回答率が高い傾向があった。**
- ・ 「グランド・広場」は全体で4割強の回答があり、**中学生以上の回答率は5割強と高い一方、小学生は3割弱にとどまった。**
- ・ 「ドーム型」「砂場」「クッション遊具」はどの年齢層でも2割～3割と一定数回答された。
- ・ 「滑り台・斜面」は、小学校高学年以上は一定数回答があるが、低学年の回答率が低い。
- ・ 「シーソー」は全体で2割の回答があるが、小学校高学年で回答率が低い。一方で、「音の出る遊具」は全体で1割強だが、小学校高学年からは3割弱と一定数回答された。

〈全体〉

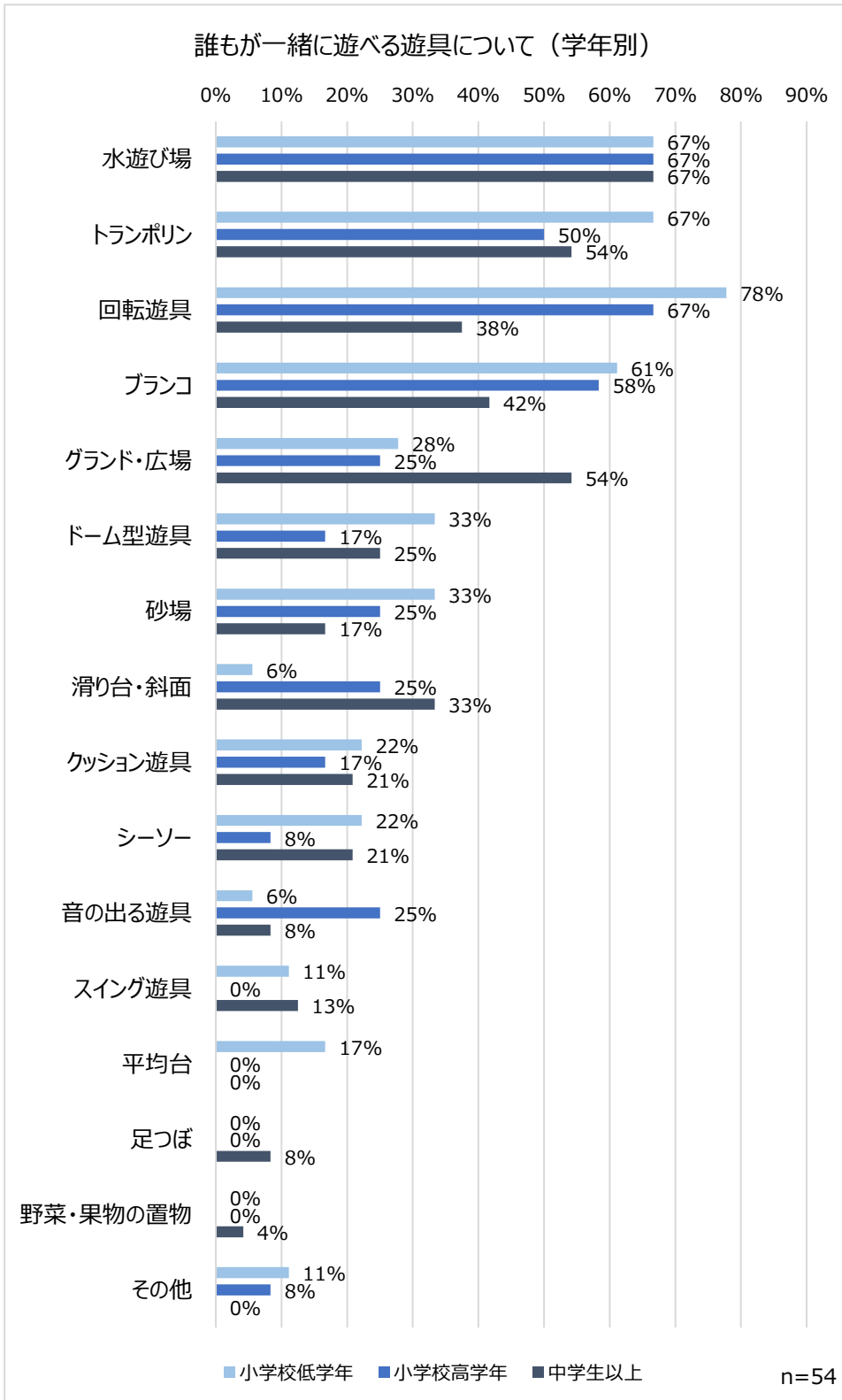


〈その他意見〉

意見・要望

- ・ ふわふわドーム（小金井公園）
- ・ よじのぼれる遊具
- ・ 鉄棒

〈学年による比較〉



※参考

	結果（複数回答数）
特別支援学校の生徒（n=3）	回転遊具（3）、トランポリン（3）、シーソー、ブランコ、スイング遊具、水遊び場、滑り台、音の出る遊具、その他
外国の方（n=7）	回転遊具（6）、水遊び場（5）、ブランコ（5）、砂場（4）、グラウンド・広場、ドーム型遊具、シーソー

(4) 公園に関する意見

Q. その他に公園で楽しかった事や、困った事など、何か意見があれば教えてください。(自由回答)

意見・要望

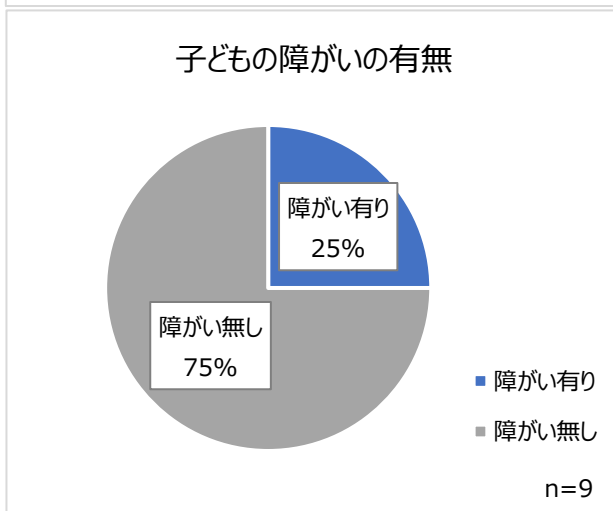
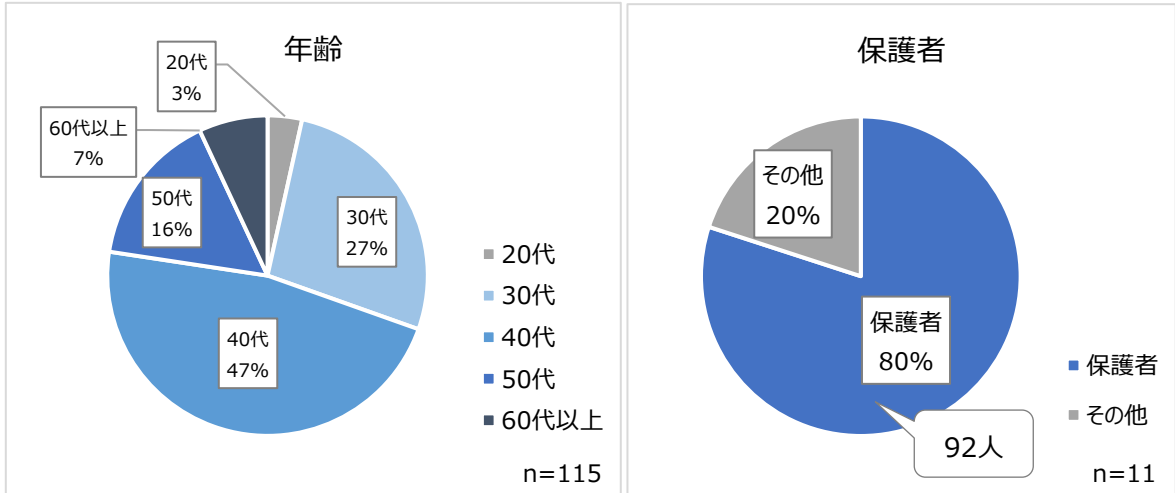
- ・ 野川公園を見習って広場もあっていいけどもう少し遊具を多くした方が良い
- ・ 水道に石鹸を置いて欲しい
- ・ ターザンロープや複合遊具についている滑り台は、障害のある子にとっては、皆がどう並んでいるのかわかりにくい場合があって、滑り台自体はひとりでできる能力があっても、列の最後尾や見えないルールわからず、ひとりで参加し辛いことがあります。どう並んでいるのが、パッと見て分かりやすい列ができるような遊具だと助かります(横入りしにくい幅の一本道など。)
- ・ プランコが大好きです。困ったこと:梶野町くぬぎ公園は楽しい遊具があるが蚊がたくさんいて 5 分も遊べないことがあった
- ・ ベンチがなかったらかなしいです。あかるいトイレがよいです。ジャングルジムがすきです
- ・ 中身が幼くても体格差で小さな子にケガをさせないか心配なため、大きい体の人用など分けるほうが安心。囲いがあってすぐに道路などに出られない方が追いかけやすい。看板で障がいの様子(大声が出ちゃうのは楽しいだけだよ、とか)がお知らせしてであると伝わりやすい
- ・ ドッチボールをやることが多いのでボール使用ありの公園があると嬉しいです
- ・ すべりだいのしがみずたまりであそべないからなんとかして
- ・ キャッチボール
- ・ 知らない人に声をかけられて怖い思いをしました。子供だけで遊ぶことがよく見られる時間帯は、誰か大人の人が必ず見守ってくれると安心です
- ・ 友達と一緒にお菓子を食べたいと思った時にテーブルがあった方がよいと思いました。
- ・ プランコが人気なので、なかなか遊べない。ボール遊びができる場所がない。
- ・ 人気の遊具は混んで入れ替え制で並ぶ、もっと色々な公園にあつたら混まないのに。夏季は日中暑いので朝や夕方に使いたいけど利用時間が限られている(小金井公園ふわふわドーム)。夏はナイター営業してもらいたい。足が不自由なので駐車場がないと(連れて)いけない。都立公園のように手帳で駐車料金が減免(遠隔確認)になる所は行きやすい。多くの遊具は対象年齢が書かれているけど、障がい児なので小さい子用の遊具で遊びたいのに、体は大きいので遊べない。対象年齢+ヘルプマーク(OK)の表示にしてもらいたい。公園会議の動画にあつたように、大病院があり障がいの子が多く来る地域など利用者層を考えた作りだといいい(特別支援学校の近くとか)。府中の森公園は冬は池が凍り、鴨が氷上を歩く姿を見るのが大好き(たまに氷の割れ目に落ちる)。郷土の森公園の池の鯉や鴨を見るのも好き。母代筆
- ・ 汚れたときに汚れを落とすためのキレイな水が必要だと感じる
- ・ ボール遊びができる公園が少ないため、そのための環境整備を行ってほしい
- ・ 公園のおかげで色々な人と仲良くなれました
- ・ ボール遊びができる公園がほしい
- ・ 冬以外は、蚊が大量にいて、嫌だから。
- ・ 子供が公園で遊んでいると、おばさんが盗撮をし、そのうえ、色々な理由で公園で遊ばないようにさせられます。そのため、家の近くや、家の中で遊んでいます、運動ができません。どうにか遊べるようにしてください
- ・ 子供が2歳ぐらいの時、遊んでいる時に、突然道路の方にでてしまったことが怖かった。囲いがされてる公園がもっとあるといいと思う
- ・ ボール遊びができる公園が少ないので増やしてほしい
- ・ 小金井は小さな面積なので、遊具がある公園、水遊びできる公園、野球とかテニスができる公園がそれぞれ1個あればいいと思いますが、それぞれを充実させて欲しいです。家からは栗山公園が近いので、回る遊具やプランコが無いので作ってほしいです。水遊びができる公園も欲しいです

3. 大人の回答結果

3.1 回答者の属性

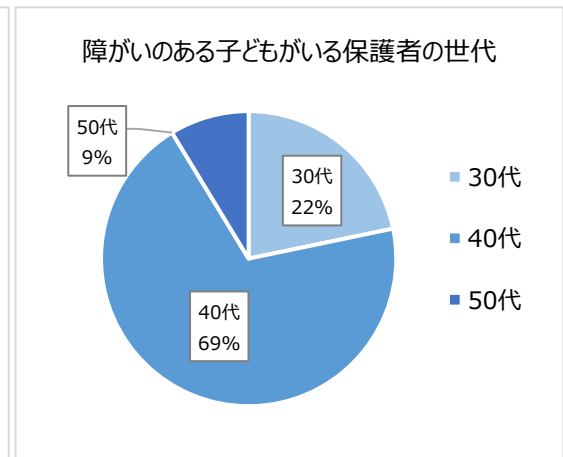
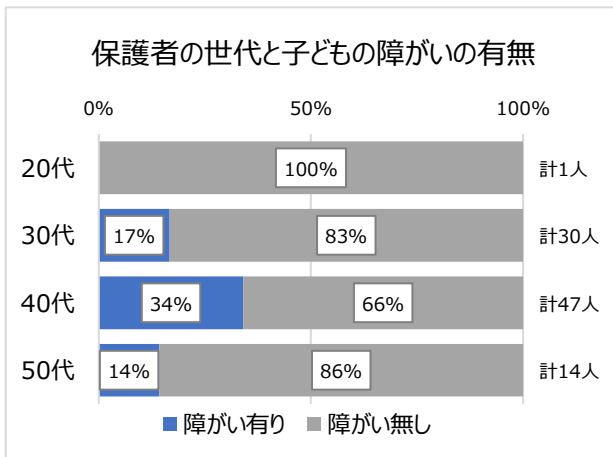
- ・ 大人の回答者（115人、うち外国の方3人）は、40代が約半数を占め、次いで、30代、50代の順位多い。20代は4人と少ないため、次頁から30代以下の分類とする。
- ・ 高校生までの子どもの保護者※が80%を占め、40代、30代の順に多かった。
- ・ 保護者（92人）のうち子どもに障がいがある人は3割弱を占め、種別としては、知的障がい最も多く、年代は40代が7割、30代が2割を占めた。

※保護者：保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の園児・児童・生徒の保護者の方



障がいの種別 (n=23)

障がいの種別	人数
知的障がい	14
肢体不自由	9
自閉症	9
発達障がい	8
言語障がい	3
聴覚障がい	1
視覚障がい	1
内部障がい	1
精神障がい	0
自閉症スペクトラム	0
計	46



3.2 回答結果

(1) 障がいのある子とない子が遊ぶ機会

Q. 障がいのないお子さまは障がいのあるお子さまと一緒に公園で遊ぶ機会がありましたか。

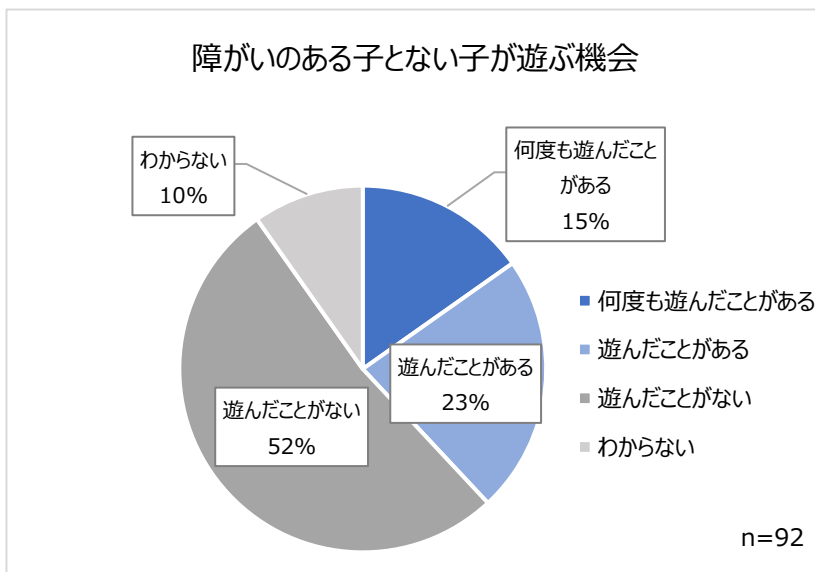
または、障がいのあるお子さまは障がいのないお子さまと一緒に公園で遊ぶ機会がありましたか。

※保護者が対象（計92名）

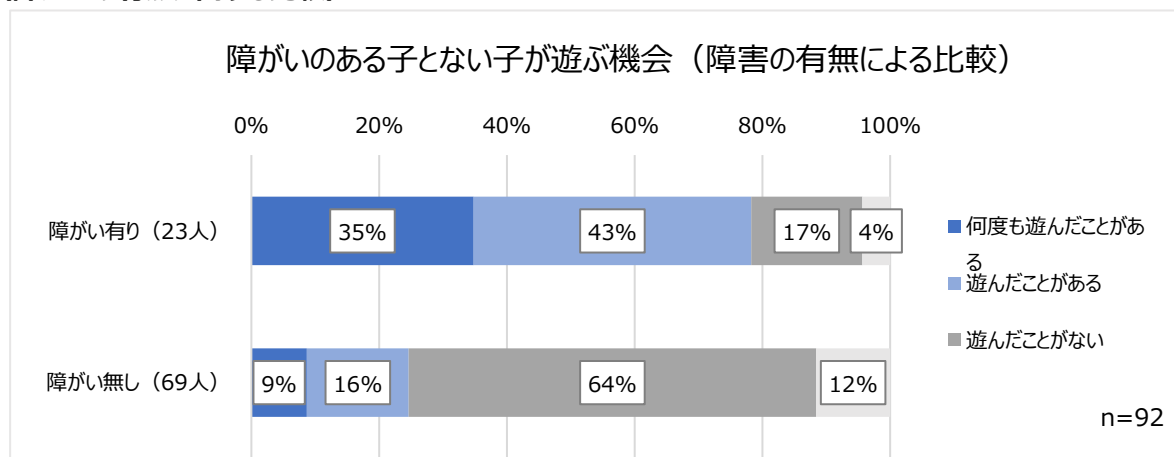
- ・ 障がいのある子とない子が遊ぶ機会について、約半数が「遊んだことがない」と回答し、「遊んだことがある」は2割強、「何度も遊んだことがある」は2割弱を占めた。
- ・ 障がいのある子どもの保護者は、障がいのない子どもと8割弱が【遊んだことがある】※とした一方で、障がいのない子どもの保護者は、障がいのある子どもと【遊んだことがある】とした人は2割強にとどまった。
- ・ 保護者の世代別で【遊んだことがある】の割合を比較すると、障がいのある子どもの保護者が多い40代が高い。

※【遊んだことがある】：「何度も遊んだことがある」と「遊んだことがある」の回答の合計

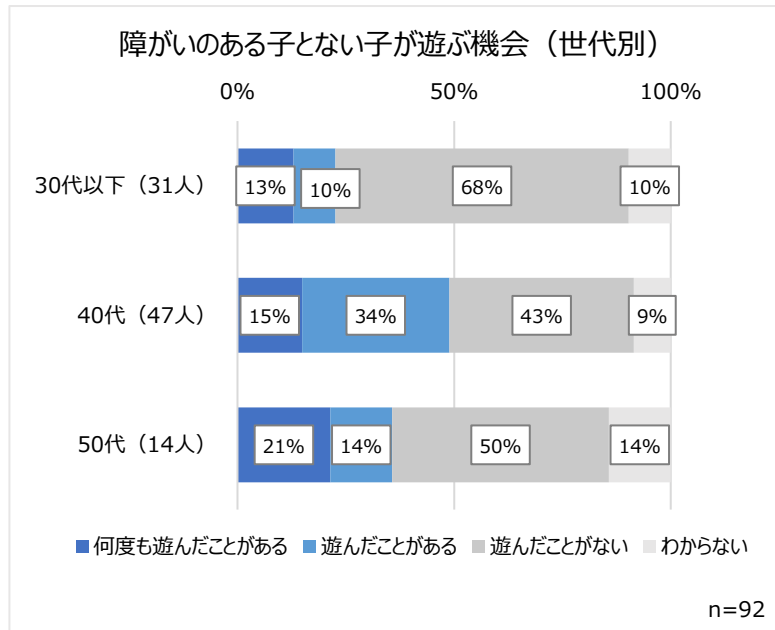
〈全体〉



〈障がいの有無に関する比較〉



〈世代による比較〉

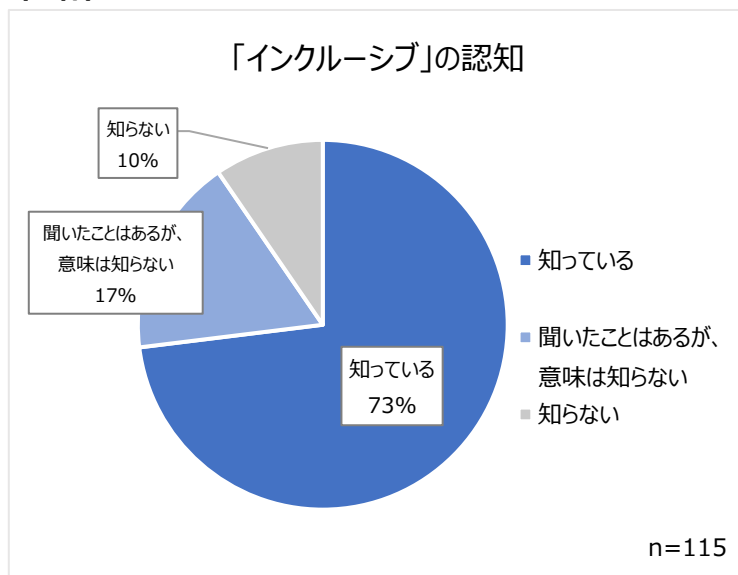


(2) 「インクルーシブ」について

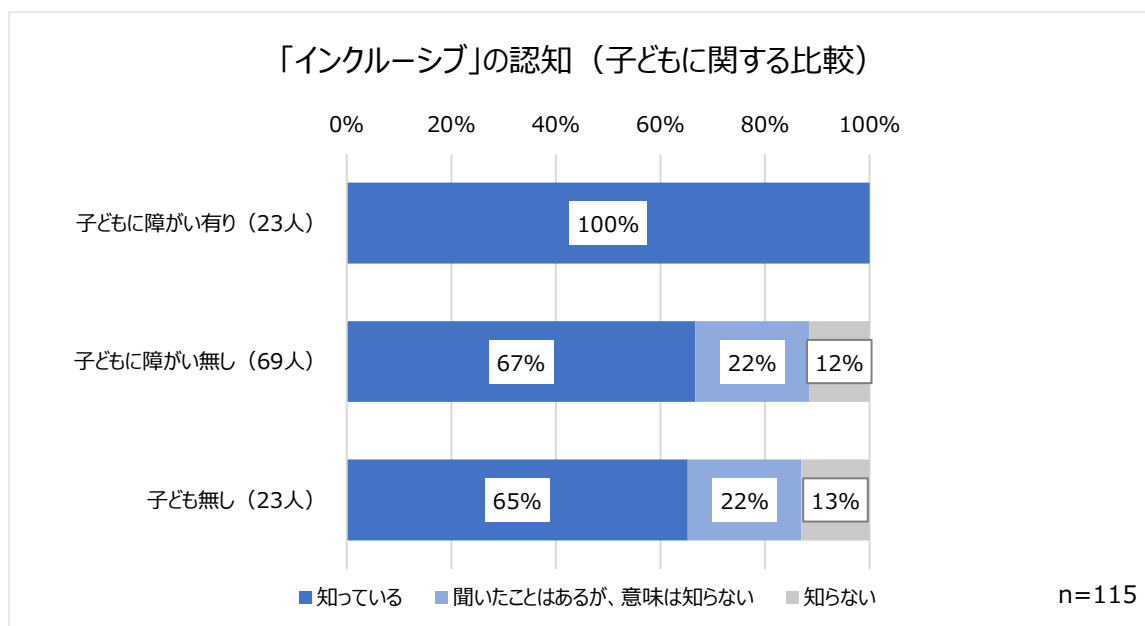
Q. 障がいや年齢、国籍や性別などを問わずお互いを認め合い、排除されないといった意味で使われている「インクルーシブ」という言葉を知っていますか。

- ・ 「インクルーシブ」という言葉を知っている人は全体で 7 割強を占め、いずれの世代でも 6 割以上の方が認知しており、子どもよりも認知度が高かった。
- ・ 障がいのある子どもの保護者は全ての人を知っている一方で、障がいのない子どもの保護者、子どもがいない人は 2 割強が意味を知らないとし、1 割強が言葉自体を知らないとした。
- ・ 40 代、60 代、30 代以下の順に「知っている」の回答率が高かった。40 代と 30 代以下は、回答者に障がいのある子どもがいる保護者の割合が高いことが影響していると考えられる。
- ・ 50 代は、「聞いたことはあるが意味は知らない」の回答率がやや高かった。

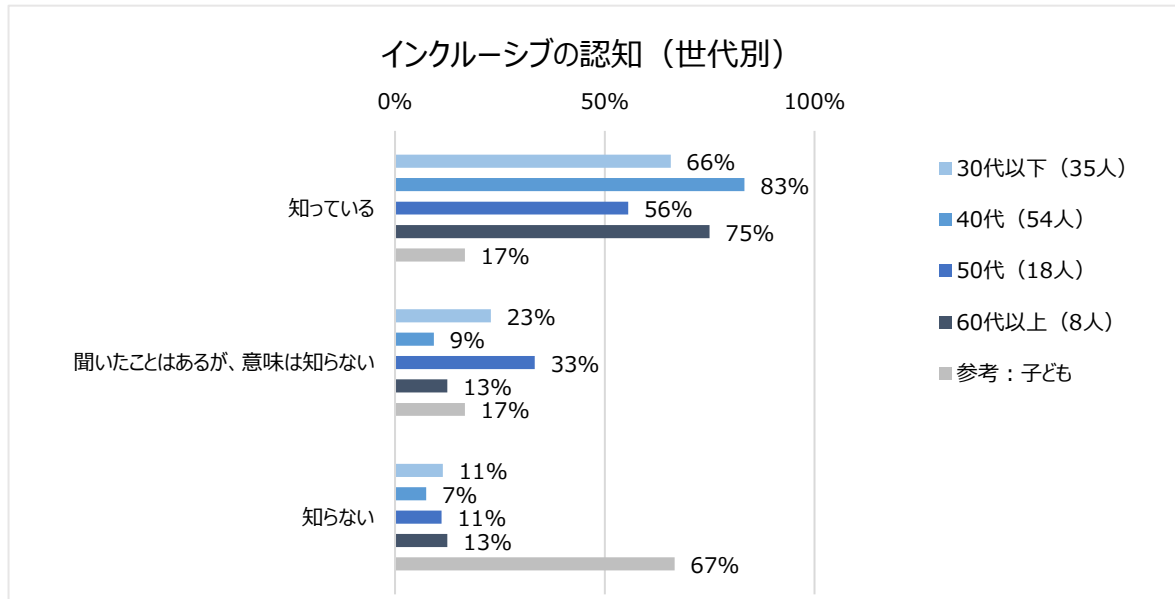
〈全体〉



〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉



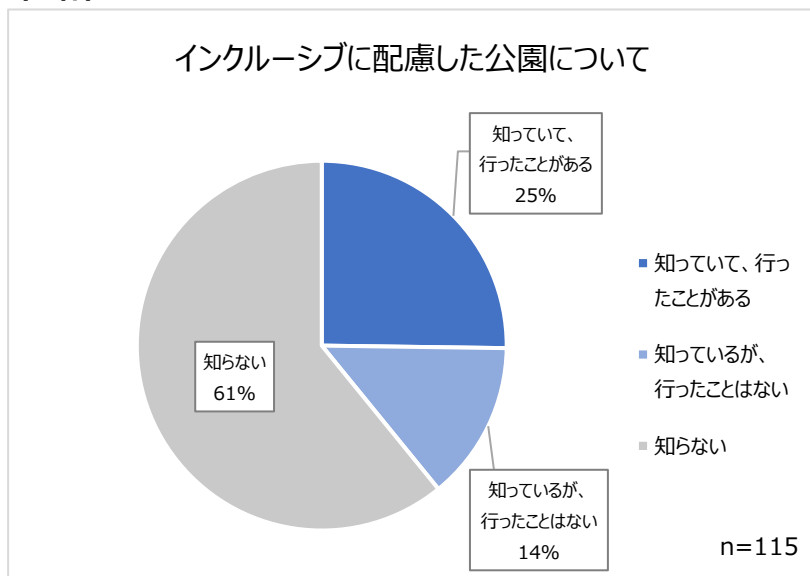
(3) インクルーシブに配慮した公園について

Q. インクルーシブに配慮した公園が近隣でも整備されていますが、知っていますか。

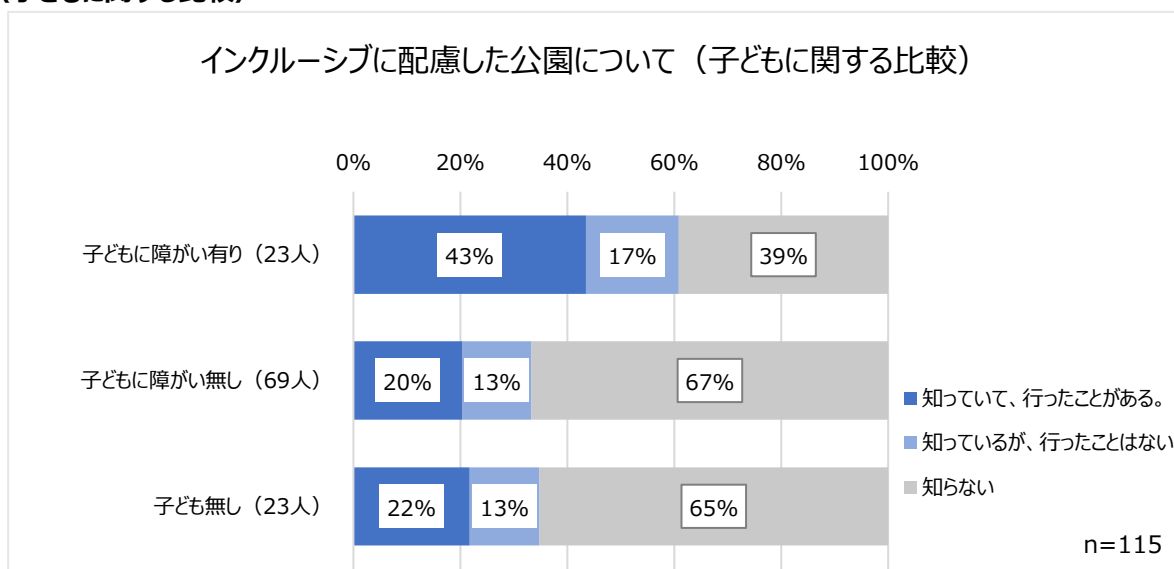
また、そこへ行ったことがありますか。

- ・ **インクルーシブに配慮した公園を「知らない」人が 6 割**を占め、「知っているが行ったことはない」人は全体で 1 割強、「行ったことがある」人は 3 割弱にとどまった。
- ・ 一方で、**障がいのある子どもの保護者では、4 割強の人が「行ったことがある」とした。**
- ・ 「行ったことがある」人は全体で 3 割弱を占め、40 代と 60 代の回答率が高く、30 代以下も一定数回答され、「インクルーシブ」という言葉の認知と同様の傾向だった。

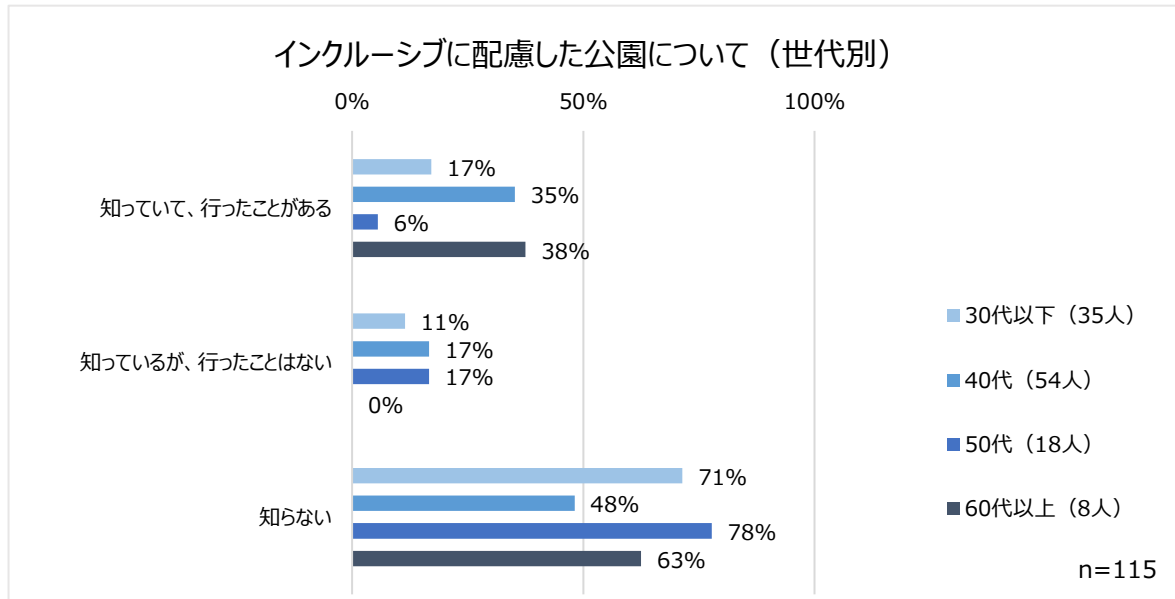
〈全体〉



〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉

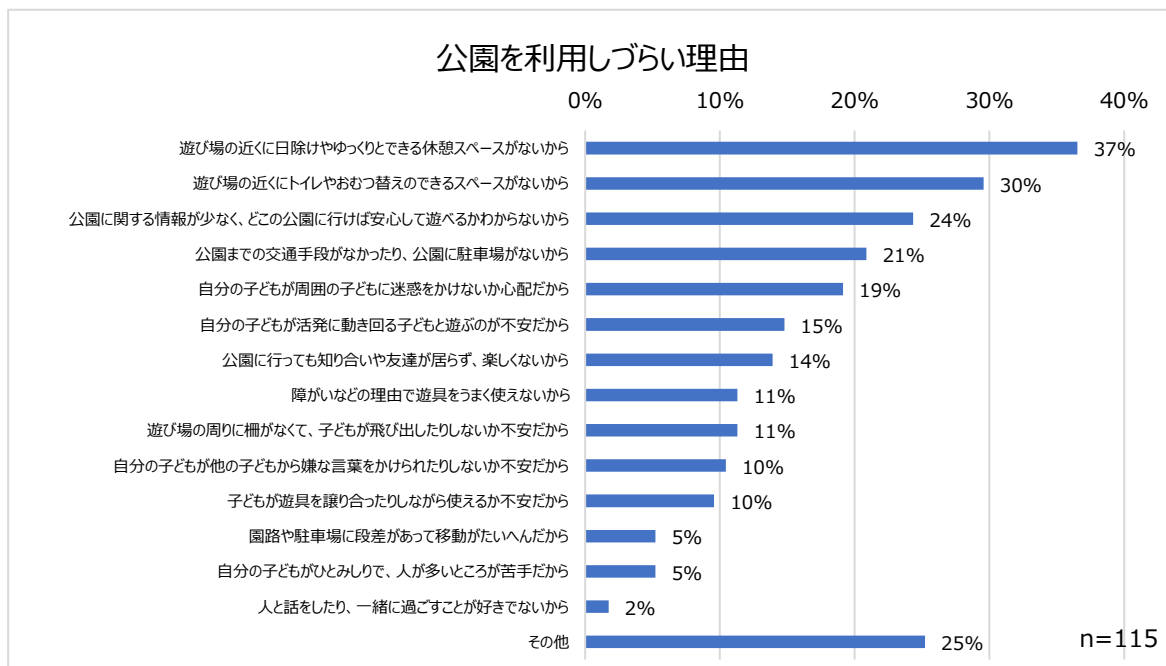


(4) 公園を利用しづらい理由

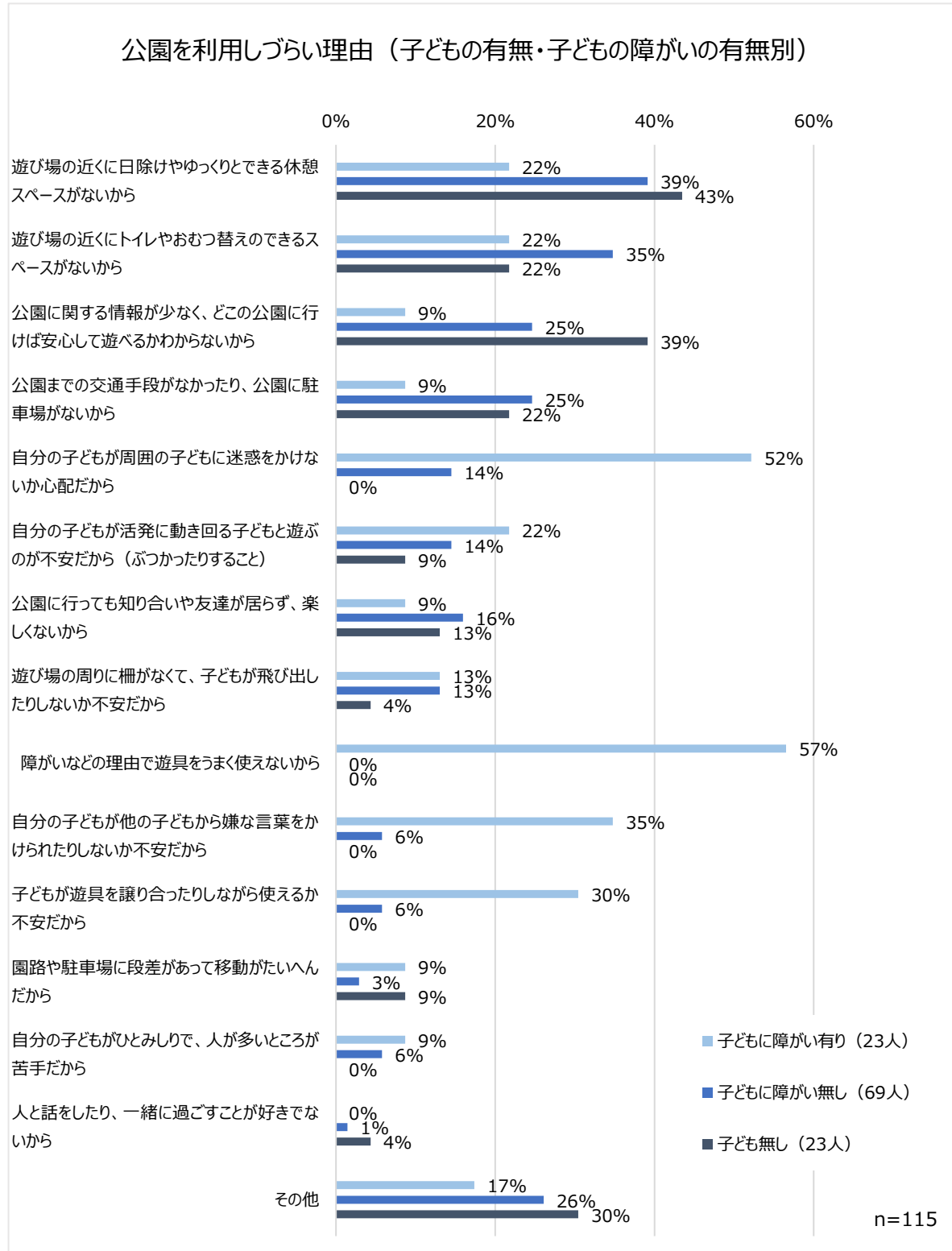
Q. 公園を利用しにくい時がある場合、どのような理由で利用しにくいですか。（最大5つ）

- ・ 公園を利用しにくい理由は、全体では「**日除けや休憩スペースがない**」が **4 割弱と最も回答率が高く**、障がいがない子どもの保護者や、子どもがいない人の回答率が高かった。年齢別では、**年齢が高いほど回答率が高い傾向**がある。
- ・ 次いで「**トイレやおむつ替えスペースがない**」の回答率が **3 割と高く**、40 代以下と、60 代以上の回答率が比較的高いため、低学年の保護者や高齢の人は、トイレ等を遊び場の近くに求めていると考えられる。
- ・ 障がいのある子どもの保護者では、「障がいなどの理由で遊具をうまく使えない」、「自分の子どもが周囲の子どもに迷惑をかけないか心配」、「自分の子どもが他の子どもから嫌な言葉をかけられたりしないか不安」、「子どもが遊具を譲り合ったりしながら使えるか不安」、の回答率の方が上記 2 項目よりも高く、**子どもに障がいがある保護者特有の不安がある**ことが伺える。
- ・ その他、ボール遊び等の利用制限、防犯上の不安、疎外感を感じる事、障がいのある子どもへのサポートや配慮がないこと、遊具や器具の不足などの意見があった。

〈全体〉

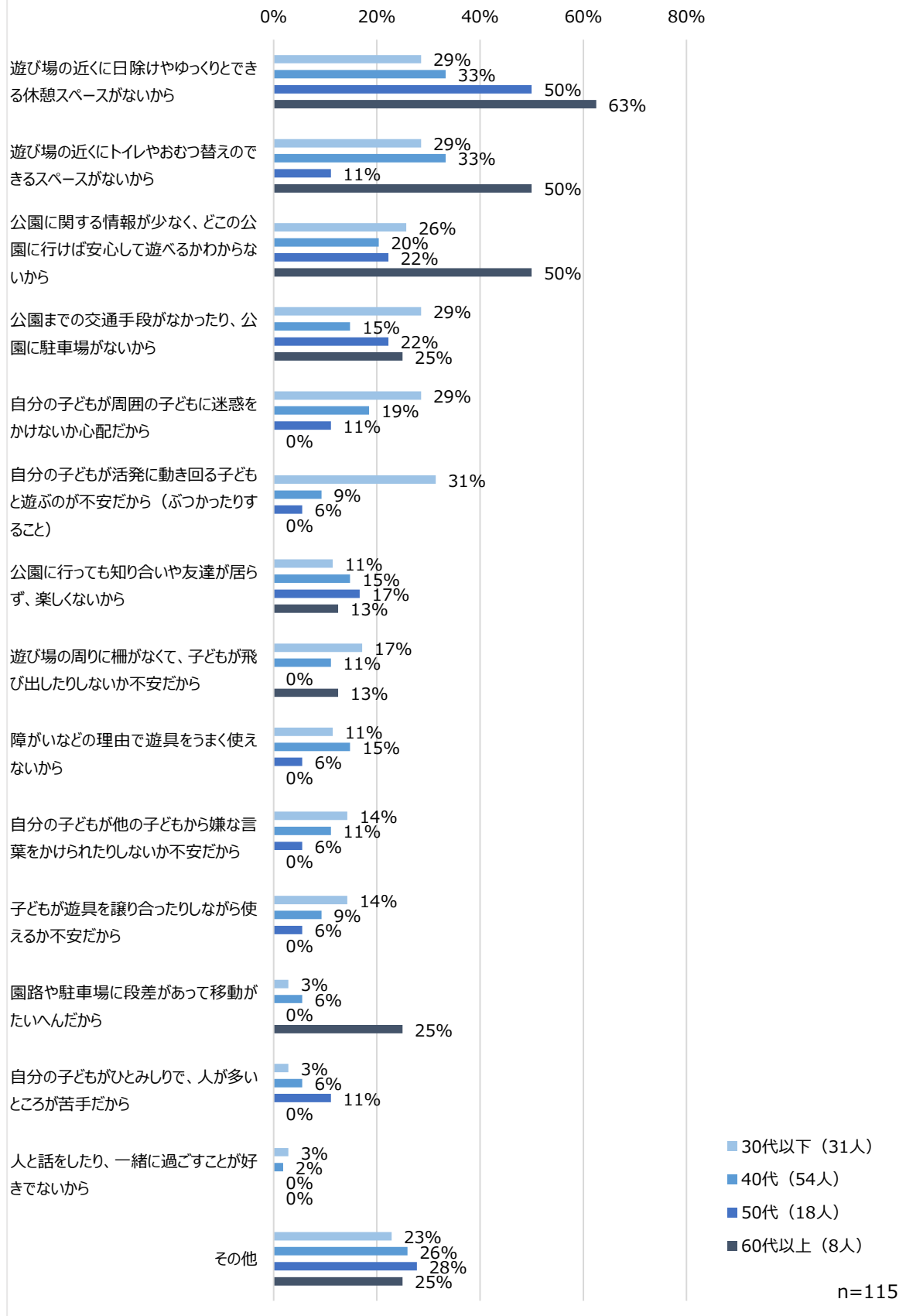


〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉

公園を利用しづらい理由（子どもの有無・子どもの障がいの有無別）



〈その他の意見・要望〉

意見・要望

■ ボール遊び等の利用制限

- ・ ボール遊びができないから
- ・ ボール遊びができないため。
- ・ ボール遊びをしたいのにできる公園がほぼほぼない為
- ・ ボール使用禁止など、こどものやりたい遊びができないから
- ・ ボール遊びをしたいが、できる場所が少ない
- ・ ボール遊びがしたいのに禁止されているから
- ・ 遊びや年齢の制限がある時

■ 防犯上の不安

- ・ 広い公園の中でも安全面で人目につきにくい死角になるようなところは、子供には気づきにくい。人目につく場所でも不審な行動をする人はおり、1人で遊ぶのではなくても心配
- ・ 防犯上危険を感じる公園は利用しにくい。外から見えにくい公園は避ける
- ・ タバコの吸殻などが落ちている。ベンチなどで喫煙している人がいる。子どもの大声やボールが柵に当たる音を出さないようにという注意書きがあり、近隣の迷惑になりはしないか気を遣い緊張する。我が子2人が小学生になっても、「不審者などが心配なのでママついてきて」と言われ、下の子が公園に行きたくない等言うと、困る。平日日中は、保育園のお散歩グループがいると、保育園の引率の先生の目と手が足りておらずヒヤッしたり、大勢の保育園児が園庭のように公園を使うので、我が子が怖がり「かえりたい」と言うこともあった
- ・ 狭い。薄暗くて子供だけで遊ばせるのが不安。遊具が少ない、または壊れている
- ・ 冬以外は、蚊が大量にいて、嫌だから。また、本町4丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のおばさんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない

■ 疎外感を感じること

- ・ あまり広くない公園で、特定の団体が活動していると利用できなかつたり、利用しづらかつたり、参加できるのかわからなかつたり、などの理由で疎外感を感じ公園に行くのを遠ざける時がありました
- ・ 村社会のような、固まって集まってガハハと笑っていたり、閉鎖的で謎のルールがある場所が苦手です。知らない地域の公園は、誰かがボスのような顔をしていたり、子どもが遊んでいるにしても「自分達の場所」としている場合は入りづらい。また、暗くて汚くジメジメとして、扱いが雑で愛されていない公園だと感じると近寄らない
- ・ 子供がいないため公園に行くと不審者と思われる
- ・ 近隣の方が迷惑と思っている場合

■ 障がいのある子どもに対するサポートや配慮がない

- ・ 障害のある子が2人居るので、ひとりで2人連れて行って見守り遊ばせるのは難しい。それをサポートしてもらえ市制度などが無い
- ・ 親ひとりでは介助が難しい。荷物を置いたままにして遊べないから
- ・ 健全の子供や親が遊具を譲ってくれない

■ 遊具や器具の不足

- ・ 目的の運動器具がないから
- ・ 遊具などの遊ぶものがなかつたり美しく整備されていないから
- ・ 家の近くに遊具の充実した公園がないから
- ・ リハビリテーションのトレーニングになりそうな器具や広場、動線が少ない。許容される持ち込み器具や音量がわからない

■ トイレやベンチの不足

- ・ トイレとベンチがないまたは少ないから
- ・ 座る場所が少ない

■ その他

- ・ 行きたい公園が遠いとき

■ 特になし

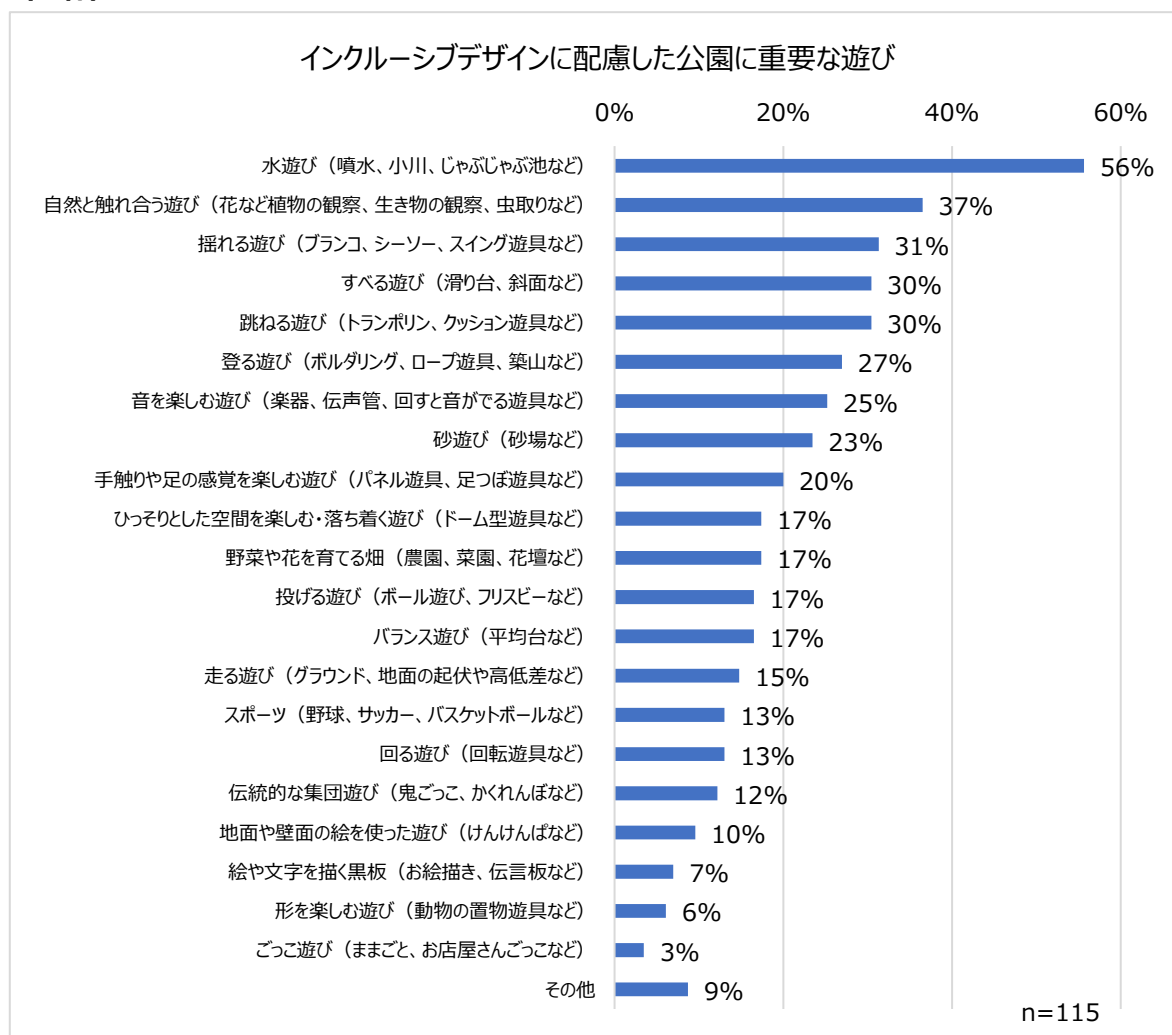
- ・ 特に思わない
- ・ 高齢期の私ですが、散歩の一休みに公園利用くらいです。ほとんどベンチもあり現状では不便はないと思いますが、当アンケートに興味あり参加しました。悪しからず
- ・ 特にそう思ったことは無い

(5) インクルーシブデザインに配慮した公園に重要な遊び

Q. インクルーシブデザインに配慮した公園にとって重要だと思われる遊びを、最大で5つお選び下さい。

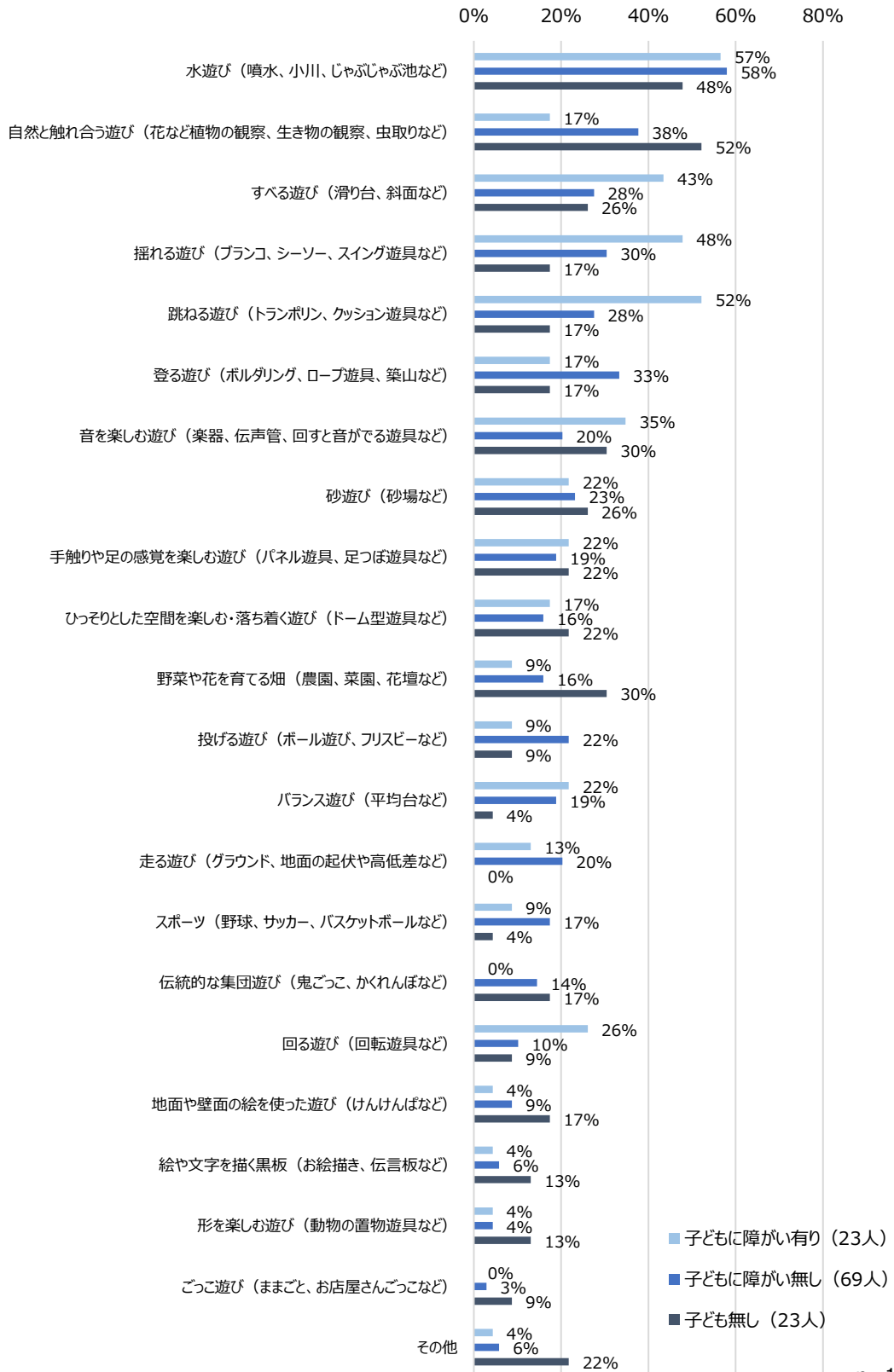
- ・ 「水遊び」の回答率が6割弱と最も高く、子どもの回答と同様の傾向であった。子どもの有無、子どもの障がいの有無、年齢に関わらず回答率が高い傾向があった。
- ・ 次いで、全体で4割弱と回答率が高かった「自然とふれあう遊び」は、年齢が上がるほど回答率が高い傾向があった。
- ・ 子どもに障がいがある保護者については、「すべる遊び」、「揺れる遊び」、「跳ねる遊び」、「音を楽しむ遊び」、「砂遊び」、「手触りや足の感覚を楽しむ遊び」の回答率の方が「自然とふれあう遊び」よりも高かった。
- ・ 上記の選択肢と同様に全体で3割弱の回答があった「登る遊び」は子どもに障がいがない保護者の回答率が比較的高かった。
- ・ その他、障がい者向けの器具や、自然観察の場、自由に遊べる広場などの意見があった。

〈全体〉



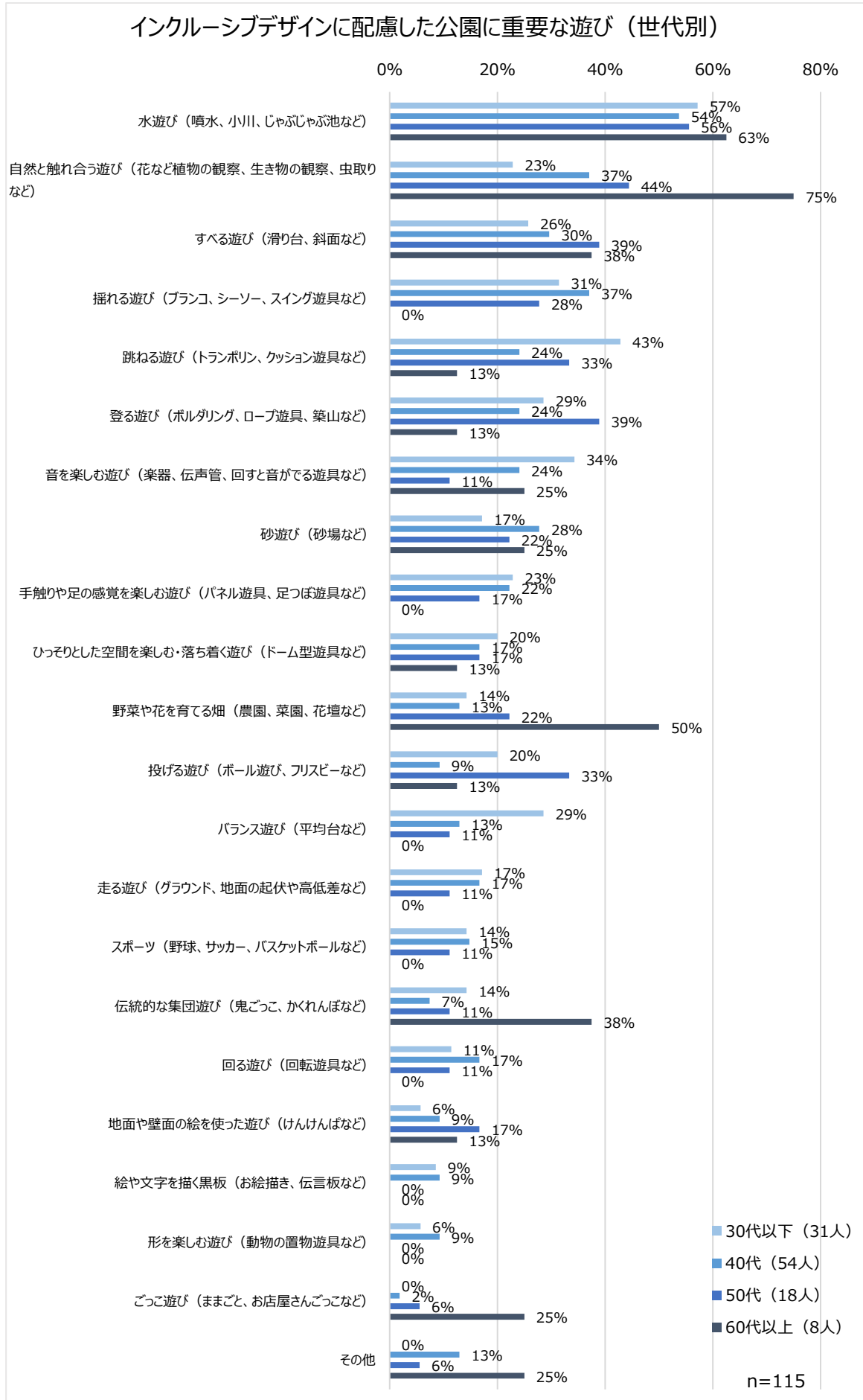
〈子どもに関する比較〉

インクルーシブデザインに配慮した公園に重要な遊び
(子どもに関する比較)



n=115

〈世代による比較〉



〈その他意見・要望〉

意見・要望

- **障がい者向けの器具など**
 - ・ 障がい者向けのリハビリテーション器具が無い。健康器具は健常な大人向けのものばかりになってる。訓練用の不整地や登板や降板の坂道
 - ・ 特定のスポーツの器具（バスケットゴール、サッカーゴール、テニスのネットなど）
 - ・ それをやると健康や発達にいいことがある
 - ・ 鉄棒

- **自然観察など**
 - ・ 川原や野川のような、自然な植栽が見られる場所に行くと、人との距離が取りやすく、ホッとしていました
 - ・ 小金井は東京都の中ではとても自然が豊かで貴重な動植物があるのでそういったものとうまく付き合っている公園にすべきである。保護と観察をできる施設が大変重要と思います

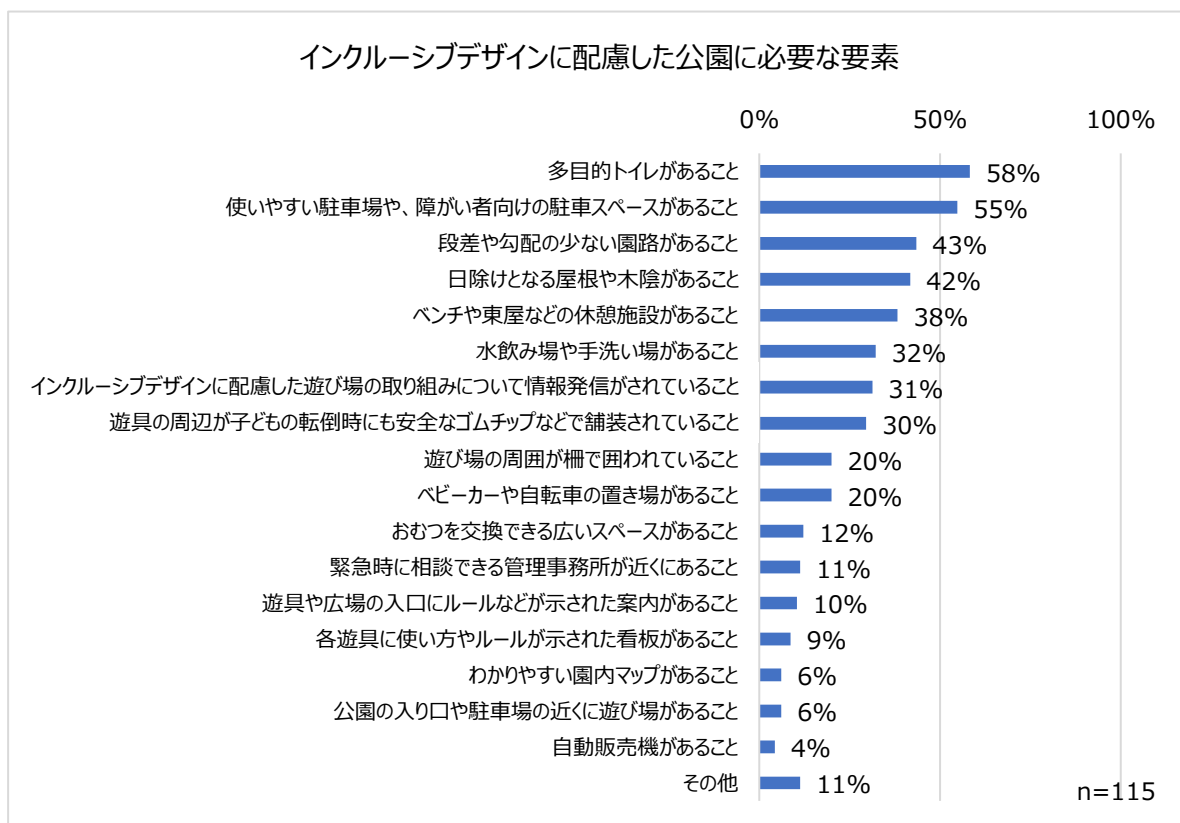
- **自由に遊べる広場など**
 - ・ 特に遊具がなくても、自由な広場があれば工夫して遊べると思う
 - ・ プレレパのように自由に遊べる

(6) インクルーシブデザインに配慮した公園に必要な要素

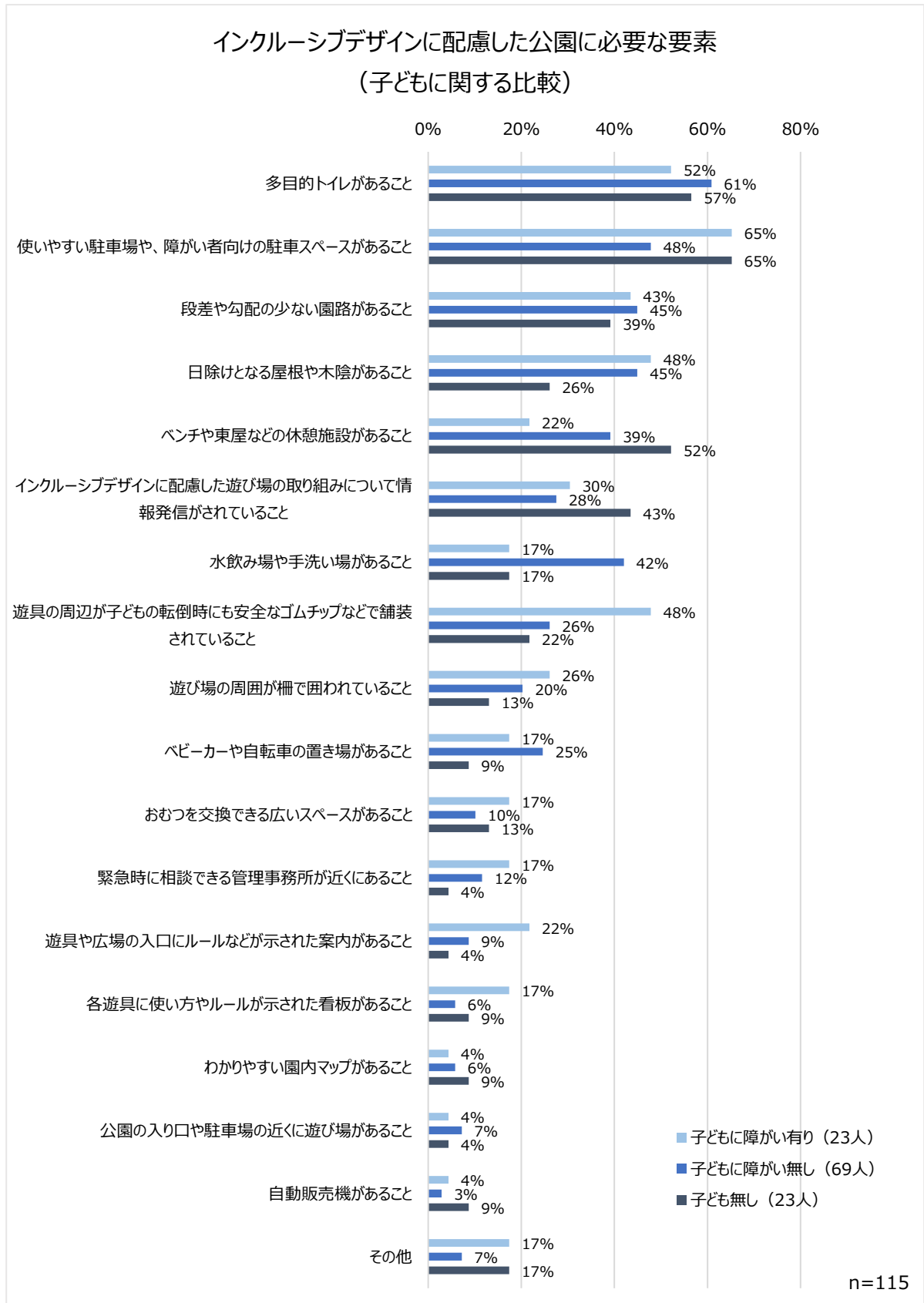
Q. インクルーシブデザインに配慮した公園にとって必要と思われる要素を、最大で5つお選び下さい。

- ・ 「多目的トイレがあること」、「使いやすい駐車場や、障がい者向けの駐車スペースがあること」、「段差や勾配の少ない園路があること」、「日よけとなる屋根や木陰があること」、「ベンチや東屋などの休憩施設があること」の順に回答率が高く、**多様な利用者に配慮した公園施設や、休憩機能が重視されている傾向**があった。
- ・ 障がいのある子どもの保護者からは、上記5項目に加え、「遊具の周辺が子どもの転倒時にも安全なゴムチップなどで舗装されていること」の回答率が比較的高かった。同項目は、回答者の世代が低いほど回答率が高く、**ゴムチップ舗装は障がいのある子どもや若い世代に重視**される傾向があった。
- ・ 「インクルーシブデザインに配慮した遊び場の取り組みについての情報発信」は、子どもがいない人、60代以上の回答率が高く、**子どもが身近でない人から情報発信の必要性が意識**されていた。
- ・ その他の意見・要望で、プレーリーダー等の専門性のあるスタッフの配置、パニック時の逃げ場がある施設配置、車いすに配慮した動線、年齢や国籍など関係なく一緒に遊べる場、自然環境への配慮と活用などの意見があった。

〈全体〉

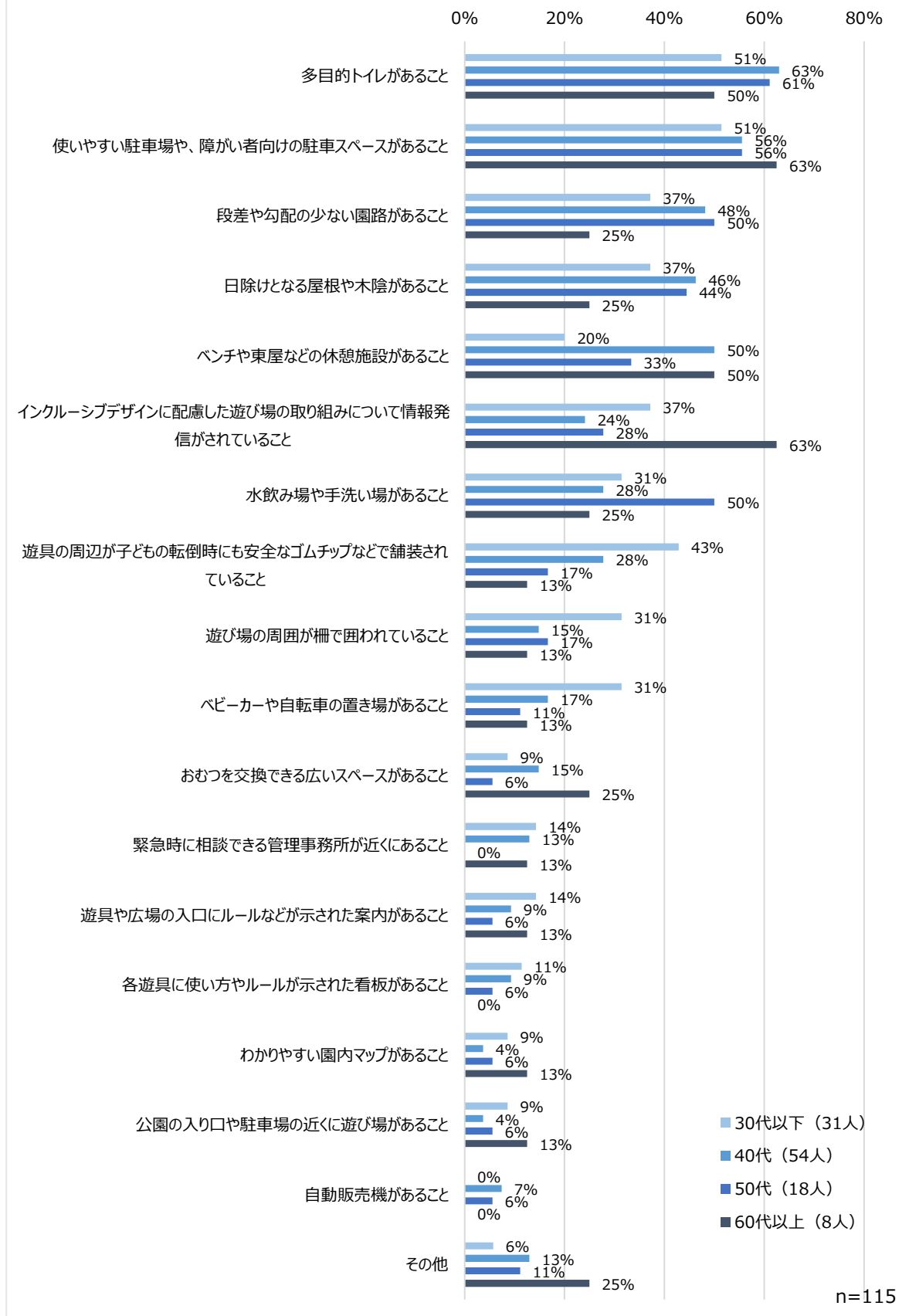


〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉

インクルーシブデザインに配慮した公園に必要な要素
(世代別)



〈その他意見・要望〉

意見・要望

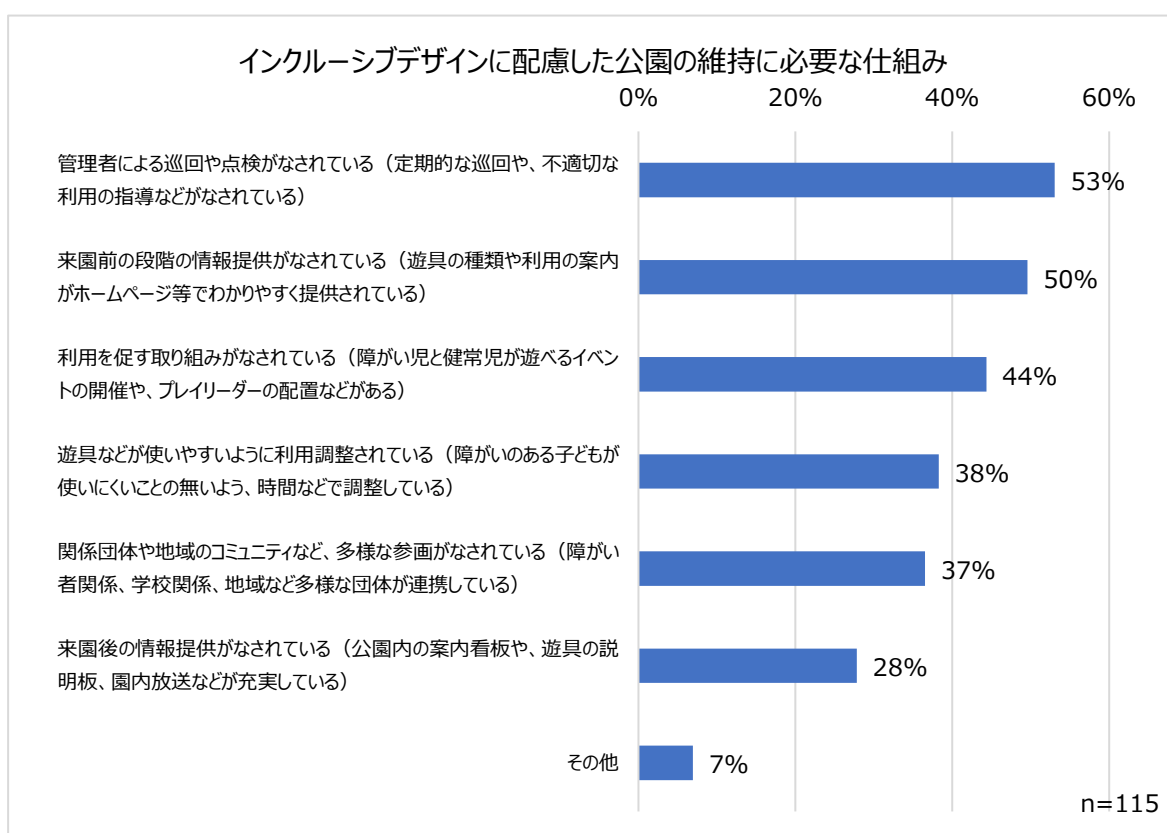
- **プレーリーダー等の専門性のあるスタッフの配置**
 - ・ プレーリーダーがいること
 - ・ プレーリーダーやプレーワーカーなどと呼ばれる遊びの専門性を持つ人がいる事
- **パニック時の逃げ場がある施設配置**
 - ・ 公園自体が広いこと。パニックになった時の逃げ場が欲しいです。人の目が気になるので、広い公園にゆとりを持って、遊具を配置してほしいです
- **車いすに配慮した動線**
 - ・ 動線がある作りである事、一方通行な作り且つ、どの方向にも車椅子で降りられる造りでないと大型遊具は目的をなさないと思う
- **年齢や国籍に関係なく一緒に遊べる場**
 - ・ 一緒に遊ぶ器具があること（例小金井公園でバスケットをするとき、年齢や国籍に関係なくその場であった人を誘ってプレイしている）
- **自然環境への配慮と活用**
 - ・ せっかく自然が豊富なので人工的な遊具にこだわらず自然のままに体験できるような施設を作るべきです。その際は公園整備にかこつけて異常な動植物を守れる体制を整えるべきで人工的な遊具や植栽を多用せず在来の植物等を生かす環境を整えるべきです
 - ・ インクルーシブな公共空間があることはとても大切だと思います。また、樹木を伐ると環境が悪化し人はどんどん生きづらくなっていると思うので、自然をただの物として扱うのではなく、生物や草や自然もできるだけインクルーシブ？に育てるといいなと私は思っています。人間だけ特別扱いというのも、結局排他的な考えに繋がっていき、おかしいのではないかと思っています。一人で居たい場合は放っておいてくれる場所、ボランティア団体があるのはいいとしても、声高な自治会などが仕切っていない場所、人々の理解が進んでいること
- **その他**
 - ・ 清潔である程度のスペースを専有できる有料トイレ。多目的トイレやおむつ交換台は不潔で不衛生なら使わない。衛生用品を捨てるゴミ箱がある。受益者負担で有料の設備も考慮すべきで、衛生用品の持ち込みや交換に係る負担に比べたら金銭負担のほうが軽い
 - ・ トイレや遊具、地面・草木などが整備されていること
 - ・ 駐輪スペースの使い勝手や、電車や路線バス・ココバスなどの公共機関を鑑みた利便性
 - ・ ボール遊びがしたいのにボール遊び禁止の公園しかないから。これだけ公園があるのに障がいがなくともボールで遊べないのはおかしいと思っています
 - ・ 遊具や設備よりも周りを配慮しながら遊ぶという意識
 - ・ カタカナのスローガンなどふりがざさない、地道であること

(7) インクルーシブデザインに配慮した公園の維持に必要な仕組み

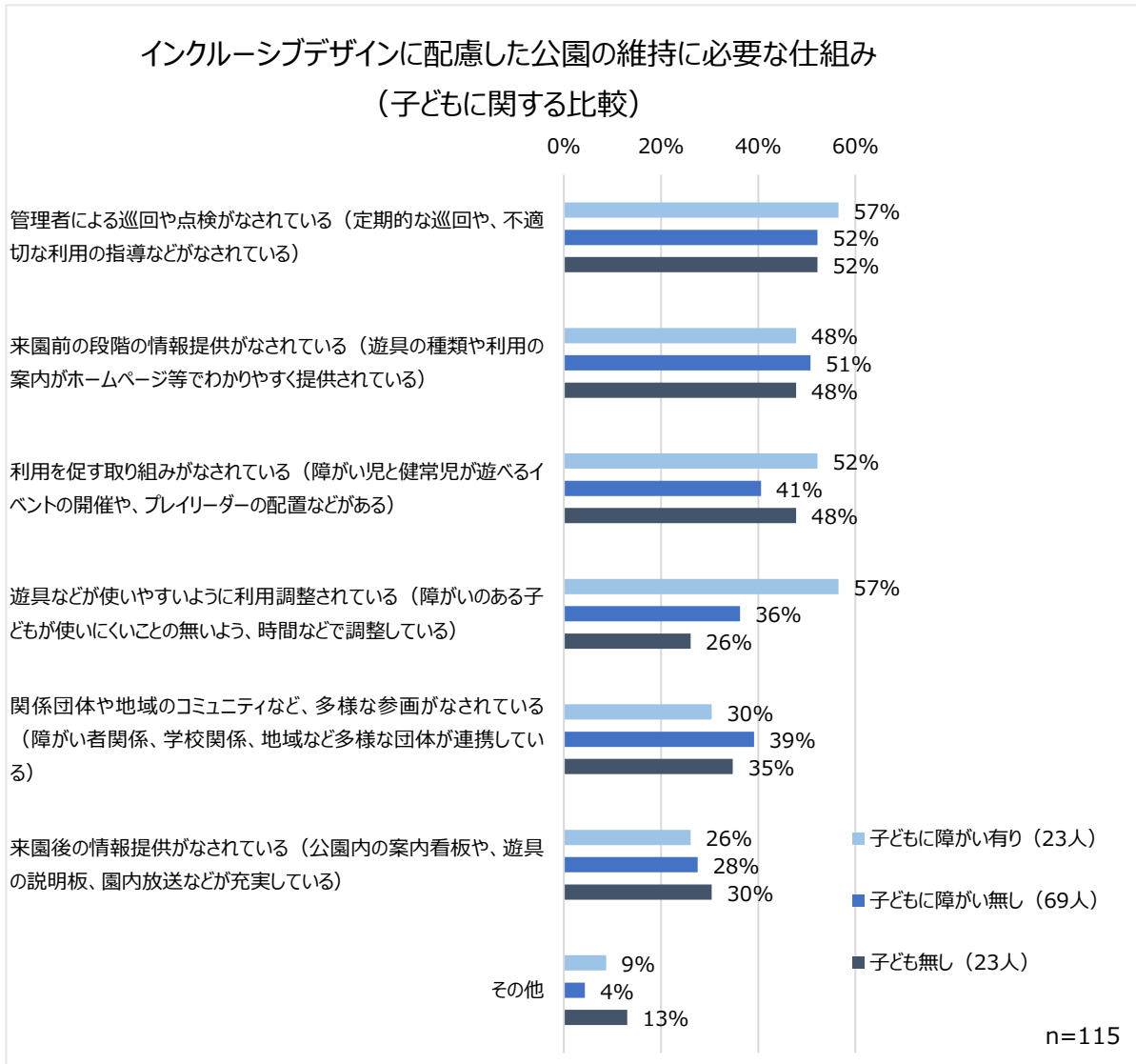
Q. インクルーシブデザインに配慮した公園を維持していくために必要な仕組みについて、最大で3つお選び下さい。

- ・ 「管理者による巡回や点検」、「来園前の段階の情報提供」が約半数の回答があり、子どもの有無や障がいの有無に関わらず比較的重視されていた。
- ・ 次に、「利用を促す取組」、「遊具などが使いやすいような利用調整」の回答率が高く、障がいのある子どもの保護者の回答率が比較的高かった。
- ・ その他、市民との継続的な対話や、サポートや教育、トラブル回避の環境づくりなどに関する意見があった。

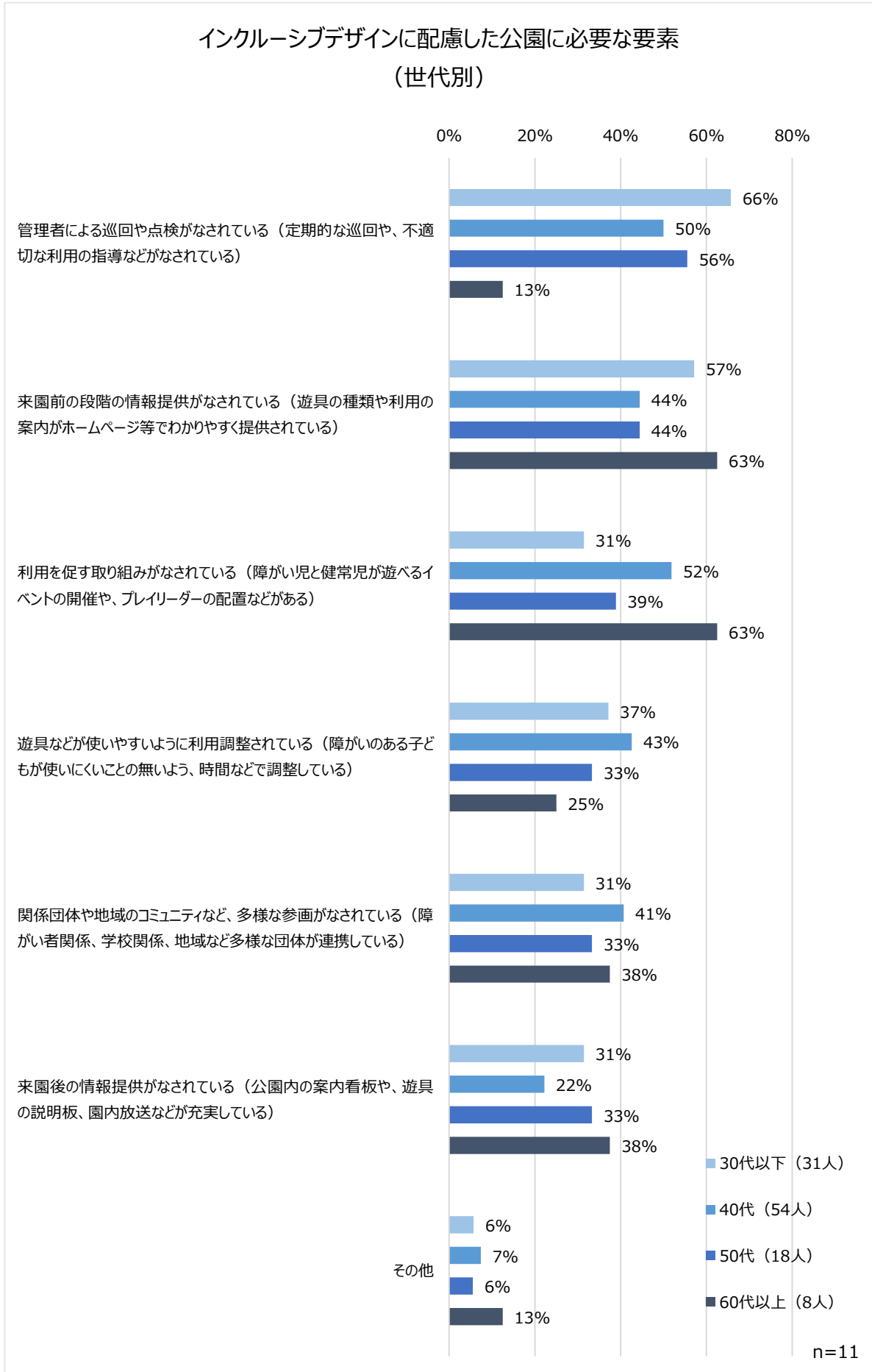
〈全体〉



〈子どもに関する比較〉



〈世代による比較〉



意見・要望

■ 市民との継続的な対話

- ・ インクルーシブが形骸化しないようにするには、手間がかかっても実際の利用者の方がどう感じているのか市民の声を聞き、市民が参加しやすいように考えていけば方向性を過たずに済むのではないかと思います

■ サポートや教育

- ・ 公園での遊び方や遊具での遊びをサポートしてくれたり、遊び方の助言をしてくれる人が常時いてくれると、保護者が1人でも子供を連れて足を運びやすくなるかと思います
- ・ 学校でインクルーシブな環境を作る（分けない教育）

■ トラブル回避の環境づくり

- ・ 実際、健常児は保護者がいない事がほとんど。トラブル回避には、親子で遊ぶ日などを設けてもらう必要がある。
- ・ 公園の近所の人クレームも昔と比べると多すぎると思う。もう少し子供が思いっきり遊べる場所が増えると親も子も肩身が狭い思いをせずに生活していけると思っています
- ・ ゴミ箱が設置すること。ゴミ拾いに対するインセンティブを用意すること

■ その他

- ・ インクルーシブにしてくださいと言った覚えはありません
- ・ これに関しては分かりません

(8) 自由意見

Q. その他、ご意見や要望があれば教えてください。

意見・要望

- ・ インクルーシブな環境が早く実現することを望みます(現在 三鷹 武蔵野の 中央線の高架下にあるように)
- ・ 地域によっては公園が遠いため無料駐車場が欲しい
- ・ 子供達が大人になってもいまの自然の姿を維持してほしい。あまり工事を繰り返して変えて欲しくないです
- ・ 普段の生活のなかで、障害児者との関わりがあり、いろんな人がいて当たり前という感覚を大人も子どもも持つことが大切だと思います。公園だけでなく、教育、福祉、市の取り組みすべてにおいてインクルーシブな考え方が当たり前になることを望みます
- ・ 公園でよくタバコの吸い殻を見かけます。子どもが遊ぶ場所ですし、誰でも気持ちよく使うために禁煙を徹底していただきたいです。せめて自身で出したゴミは自分で捨てるようにしてほしいです。小金井は喫煙スペースがないため、道で歩きタバコをして公園などで捨ててる人をよく見かけます。喫煙スペースを設けるなどして公共の場で吸うことを少なくしてほしいです
- ・ ユニバーサルベッドのあるトイレが、公園内、もしくは近くの施設に必要です
- ・ 公園管理の民営化はまだ課内検討中なのですか
- ・ 地方自治体によっては 公園整備や防災対策と言って 貴重な動植物の生息地をただでさえ少ないのにさらに開発でそういった場所を減らすところがあるようです。都心から これだけ近くにこのような貴重な自然環境が残っている場所は本当に少ないです。小金井で生まれ育った方は実感しないかもしれませんが 今この市で残っている自然環境は大変に貴重なものです。そういったものを残せるような公園の整備をすべきであると 強く強く考えます。他の市町村にあるような同じような公園を作るのでは 全く意味はありません。小金井市 独自の公園の整備計画を 熟慮していくべきだと思います
- ・ 誰でも使いやすい遊具や遊歩道等を色々整備するよりは、広い平坦な芝生の広場やグラウンドとベンチとトイレがあれば、誰でも使いやすい公園になるのではないのでしょうか。植栽等についても最小限にして、できる限り人が遊べる面積を増やすことで、人との距離が開き、結果的に誰でも安全に遊べる空間になると思います。暫定整備の梶野公園は小さい子供でも比較的遊びやすいです
- ・ イラスト 1 枚目のフリガナに誤字がありましたので、念の為お伝えします。(イラスト右下、知り合えるのフリガナ)
- ・ 設問からも、インクルーシブ公園には遊具や場の設えだけでなく、人と人の関りが大事だとの考えが伝わり嬉しくなりました
- ・ 小金井には市の事業でプレーパークがあるので、それを活かして今後は市立公園でのプレーパークがインクルーシブ公園になったらいいと思います。プレーリーダーは子どもの声を聞きそれを形にする事が得意ですから、子どもが参画する場づくりにもなります
- ・ こども基本法 11 条にもかなう事業になりますね。期待しております
- ・ 雨の日でも遊べる場所があれば助かるいつも思っています。他の自治体であれば土日祝も遊びに行ける児童館がありますが、小金井市にはありません。日祝に公園へ遊びに行くとしてもお天気が悪いといけません。たとえば武蔵境のポップ公園のように、高架下に遊具のあるスペースがあると嬉しいです。小雨の日曜日にポップ公園に行った時、同じく小金井市から来た人に会いました。その方も同じように「市内に雨の日祝に遊べる施設がない」と話していました。幸い、国立や府中には日祝開館し、市外の人を受け入れてくれる児童館がありますが、そちらにたより切っているのでしょうか。スタッフの休日のこともありますので、児童館を日祝開けて欲しいわけではないですが、みんなが遊べる公園作りを今後していくのであれば、お天気の影響を受けずに思い切り遊べる公園が欲しいという声も取り入れていただけると嬉しいです
- ・ インクルーシブな公園を作るという大きな目標はステキです。ですが、その前に、公園が地域によっては全くないところがあるので、それも考えて欲しいです。ちなみに当方は第一町会の地域ですが、公園がありません。諸事情あるのかも知れませんが不平等を感じますし、防災の観点からも不安を感じます
- ・ 栗山公園にある様な大型アスレチックが他の公園にもあるとありがたい。大人の手を伸ばしやすいデザインになっていて側で見守ってあげられるので
- ・ 障がい児を育てる親としては、「障がいあるなしに関わらずみんなで楽しくハッピーに公園を一緒に楽しむ」ということは、現段階では正直非現実的なケースが多いです。公園自体が整っていても、保護者同士、子ども同士の気持ちにそこが追いついていないために、結局障がい児の親が心身疲弊してそこに気持ちが向かなかったり、差別がうまれてしまう、などです
- ・ 現状で障がい児の親が求めることは、障がい児だけが利用できる時間帯や場所が設けられていること(人数制限や様々な危険を回避できる対策含めて)。そういった環境の中でなら笑顔で過ごせるケースが増えるのではないかと想像します
- ・ インクルーシブの環境づくりは、当事者と当事者以外の考え方を同じにしていくような教育を地道に続けた先に真の成立があると考えています。そこに辿り着くまでは、時間がかかっても、当事者の声をきちんと聞き、現実の問題を徐々に緩和していきながら調整して理想に近づけていく段階が必要不可欠なのではと思います

- ・ 最近、思いっきり遊べる公園が少ないです。特に小金井市ではボール遊びができる公園が少なく、そのせいか東京都はスポーツテストでも平均が低い傾向にあります。近隣に迷惑などの理由であれば、一方的にその意見に従うのではなく、それを改善できる、お互いが歩み寄れる妥協策を探していける仕組みができるといいなと思います
- ・ スペースがあるのにボール遊びが禁止されている公園がありすぎだと思います
- ・ 使われない公園ではなく、使いやすい公園が増えることを願っています
- ・ 中学生以上の子が遊べるトランポリンがあるといい。自閉症でトランポリン好きな子は多いと思う
- ・ 小学生の子供達だけで長く遊べるためにトイレの設置やベンチ(特に雨や日差しを遮る屋根付き、テーブル付きのもの)が多くあるといい
- ・ 「インクルーシブ」という言葉に踊らされる前に、一般的な公園をまずしっかり整備してほしい。遊具は古く点検を受けた後は長い間使用禁止、安全な柵のある場所は少なくとも子どもは飛び出し、ボール遊びが安心してできる場所もなく、ゴミが散乱しているところが多い
- ・ 「インクルーシブ」以前に問題が山積している。小金井市の公園は他市と比べて整備状態がずる悪い。
- ・ 公園で遊ぶこと以外の目的で利用していることを考慮すべき。本アンケートはインクルーシブ公園といつつも遊ぶことが第1として、それ以外の利用をアンケート項目から排除している。リハビリテーション設備や器具が市内の公共施設に無く、トレーニングすることが困難である
- ・ パラスポーツ向けの器具については持ち込みできるどうかの基準が明確ではない。車椅子の動作訓練や、ブラインド向けのサウンドトレーニングは、専有利用が必須になるが、そういった用途を想定されてない
- ・ ボール遊びについて年齢で区切られているが、障がいは年齢ではないので、ある年齢を超えた機能障害者はキャッチボール訓練ができなくなる。このように公園利用の規則や規約がインクルーシブになっていない
- ・ 受益者負担として、設備利用の有料化も考えるべき。遊具や器具の専有利用の仕組みも制度化すべき。器具や設備の有無ではなく、健常者との衝突を避けるため同時に使いたくない需要もある
- ・ 子供用トイレや専用トイレ等、使いやすいトイレを充実させてほしい。紙パンツが外れていない子の紙パンツを立ったまま交換したり、トイレ終わりまで下を全部脱がなければトイレができない子の親が容易に服を脱がせる用にチェンジングボードの設置をお願いしたい
- ・ 子供達が安心して安全に使えるトイレが増える事を願ってます
- ・ 世界的に大変な気候変動の時期に、自然を破壊する公園づくりではなく、緑を担保する稀少部分であることも前提してほしい。子どもたちにも人間も自然の一部であることを体現できる場にする事を求めます。ハンディを持っていても同じです。人口遊具の必要性はあまり感じません
- ・ 自主性を尊重して自由に開放した上で、実際に利用する人が楽しく過ごしているかどうかは、時々確認するのもいいかもしれません。元の方針が良ければ、共感して公園を大事にしようという人が増え、雰囲気よくなるのではないかと思います。障害児と健康児という区分けだけでなく、今は足の悪い方、車いすの大人も増えていると感じるので、多くの人が過ごせるように考え続けるのは素晴らしい姿勢で、結果的に共感する人が増えれば行政もやりやすくなるのでは？と思います。斎藤幸平著『モンの「自治」論』という書籍で、どうやって新しく自由な自治を作っていくかの話が興味深かったことを思い出しました。自分達がつくっていくという意識は、これからの時代とても大事だと思います。それを支えてくれる柔軟な考えの行政の人がいて行動してくれる小金井市は、幸せですね。応援しています
- ・ インクルーシブは理想であるが、実際に利用しているのはほとんど健康児がほとんど。障害児施設と近隣幼稚園、小学校などを同時に招いて、一緒に遊ぶにはどうしたらいいかを学ぶ日を設けるなど、利用者への働きかけが必要不可欠だと考える。バリアフリーに作ったらからと言って、肢体不自由や重度知的の障害者が実際に利用することは、殆ど不可能だという事が全く知られていない
- ・ 今のような作るだけの公園であれば、障害者施設の校庭の遊具を、土日に開放する方がよほど有意義だと思う
- ・ 近年では、外遊びの機会が減少している中で素晴らしい取り組みだと感じました
- ・ 子供同士でも安心して公園で遊べるように、地域のセキュリティも含めた整備も同時に進めばと思います
- ・ 何回も来ないと分からない その公園ごとのルールみたいなものもあります 例えば 近所の人から苦情が出てここでボールは使えないんだよとか言われたりします
- ・ インクルーシブに配慮の前に、小金井市の公園のトイレと水道の整備を希望します。貫井坂下の大きな公園と言えば団地公園ですが、遊びに来る子どもが多いのに水道すら使えなくて不便です。市ではなく、団地の管理なので、使えないとのことですが、市が水道を管理し、(水道代を市が出す)などして解決策を考えてほしいです。とにかく不便。手を洗いたい時はわざわざコンビニへ行っています。水道やトイレを設置する事で災害対策にもなるのではと思います。ぜひ検討してほしいです
- ・ 医療的ケア、特に、常に繋がっている機器がある子は、どんな遊具でも他の方のサポートが無いと利用するのはとても難しい。ひとりならともかく、もう1人いると更に難しい
- ・ 健常児のご家族には、目に見えない障害を持つ子供に対する理解が難しい。大声を出す、ルールが守れないもしくは理解が難しい等。そのために健常児から意地悪をされたり、怒鳴られたり、健常児の親御さんから嫌味を言われたり、と悲しいことが多々あった。そうしたことがないよう、障害児が安心して楽しく過ごせる公園にして欲しい。難しいとは思いますが、そのように願っている
- ・ 一つの公園に役目を集約するのではなく、ボール遊びするならA公園、砂遊びするならB公園…など各公園に役割を分散して欲しいです。葛飾区はネット完備でサッカーOKの公園が多数あります。東屋やベンチがあると動画撮影者が多いので、そのような公園は完全に大人向けとしても構いません

- ・ 乳児とゆっくりしたい、犬と走り回りたい…それぞれの特徴に特化した公園が点在し、棲み分けられるのが理想です
- ・ 急な天候変更や子どもの体調変化に対応できる、屋内休憩所、カフェ、冷暖房が効いているスペース。軽食や保冷剤が買える所があると、安心して利用できる
- ・ 遊具の整備や地面整備も必要ですが、どんな人も一緒にボール投げ（ドッジボールなど）が出来る場所を確保して頂けるとありがたい。公園内広場に金網等のフェンスを付けて、乳幼児の遊び場にボールが飛んで行かないようにする工夫があると良い。また、ボール遊びの場所だけ遊具の場所から見えないほど離れてしまうことなく、隣接していることが望ましい。年齢差のある子供たち、障がいのある子供達、様々な子供が同じ空間で遊べる場所を希望します
- ・ 小金井は公園が少なすぎる。小金井公園で事足りると小金井市は思いこんでいる
- ・ 小金井には大きな公園だけでなく、小さな公園もたくさんあるので、そこを有効活用できたらいいのにと考えていました。小さな遊歩道もあるのに、全く活用されてなくて、もったいないと思います
- ・ 栗山公園、桜町公園の手を洗う水道の排水が、土や砂でよく詰まっています。役所に電話したこともあります。改善されることを期待します
- ・ 小金井市に越えてきて感じた事は、清掃が行き届いていなく、ベンチ付近にはタバコの吸い殻が沢山落ちていること。安心して小さい子を遊ばせられないな…と思いました
- ・ 近隣の府中市には子どもしか入れない遊具のある公園、係りの方がいる公園、国分寺市には、NPOの遊びの場があり、こういった場があれば良いな…と思います。是非、子どもに優しい小金井と自慢できる市にして欲しいです
- ・ 我が家は、上が軽度の知的障がいに伴う自閉症(多動、会話は3語文程度、人とのコミュニケーションが苦手、大きな音や子供の騒ぐ声が苦手)、下が定型発達の2人の子供がいます。小金井公園が好きで二人とも行きたがるのですが、やはり上の子の障害が原因で難しいです
- ・ 思い通りにいかないと癇癪を起こしたり、そもそも言葉や会話の内容が理解できないので事情を知らない周りからルールを守ってと責められたり本人も辛いです。(うちの子は小児科の先生でも言わないと障がいがあるとは分からない感じで、話し方などで分かるタイプです) 2人一緒に行ける時は上の子に夫が、下の子に私が付き添える時だけです。なので障がいの有無にかかわらず遊べる場所が欲しいです
- ・ 障がいがあると本当に運動する機会が少ないと感じています
- ・ 定型の子は体育、学校の休み時間、放課後などお友達と体を動かして遊ぶ機会が当たり前にあります。でも支援学校に通う程度の障害だとまず人との意思疎通が難しく、お友達を作ってそこから約束をし体を動かして遊ぶなんて夢のまた夢です。下の子も周りの目が気になる年齢に差しかかり、たまに周りの目に辛くなる時もあります。せめて家族という時は二人とも周りの目を気にせず、のびのびと当たり前のように休みの日に家族で公園で遊ばせてあげられたらなと思います。希望としては、柵のある遊具広場で障害のある子、ない子が時間などで分けて遊べると助かります
- ・ あとは定型の子供同士でも乳幼児、幼児、低学年、高学年など年齢別に遊べる場所があればいいなと思います
- ・ 小金井公園のふわふわドーム、高学年の子供達がめっちゃくちゃに走り回って強くぶつかられたり、強いジャンプの反動で投げ出されてしまったりで毎回酷いので利用できなくなりました。高学年の子供達は親御さんの付き添いも無く、いらしても何の注意もなかったり残念です
- ・ 差別ではなく区別はとても大事だと思います
- ・ 自分の子が他のお子さんに怪我をさせたりも心配ですし、落ち着いて安心して遊べる環境があれば親も子もゆとりができます。そうすれば遊具の遊び方や順番などのルールも根気よく教えられるので、障害があっても定型の子よりうんと時間はかかりますが経験の積み重ねで覚えられるおさんは多いです。長くなってしまい申し訳ございません。ですがこのような機会をくださってありがとうございます！！
- ・ 発達障害のお子さん、グレーも含めて年々本当に身近で多くなっています。どの子供達も公園が楽しい場所だと思えますように…！どうぞよろしく願いいたします
- ・ 本町4丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のお婆さんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない
- ・ まず基本的に小金井の公園には駐車場が無い、もしくは都立公園は1時間300円と毎日通える値段ではない為、子供が2、3人いて、ベビーカーがある場合、近くの公園で遊ばせる事しかできません。
- ・ その公園に遊具がない、狭い、高学年の方がいると何も出来ません
- ・ 良い公園が目の前の方は良いですが、結構深刻な悩みです。公園を大きくするのは難しいと思うので、私達がそういう公園へ行くとして、せめて都立公園は市内の方は駐車場無料にしていきたいと思います。よろしくお願いいたします
- ・ 障がい者を分けないまぜこぜの社会をつくるのが大事。公園が誰にとっても居場所となることを願います
- ・ インクルーシブ用の遊具を増設する場合、ブランコなどは乗れる数が減ると混んでしまって、結局皆乗れず本末転倒になるので、一人で長く遊ぶような遊具は数を減らさず差し替えてほしい
- ・ インクルーシブ公園のブランコも座面が直角で座り心地が悪く不安定なので、自由に角度を変えて乗れるなどアレンジができたらいいなと思います
- ・ キャスパーブランコを是非取り入れて欲しいです！！
- ・ 貫井北町5丁目周辺に子どもたちが集まって遊べる公園がないため、遊具の充実した公園を設置して欲しい

- ・ 昨今インクルーシブという言葉が先走りすぎて嫌悪感を感じます 海外の公園や葛西臨海公園のように自然とバリアフリーが整えられ利用者同士も必要があれば手助けするという意識が根付いているのが理想です。遊具などのハード面は考慮する必要があるかもしれませんがそれ以外はあまり頭で考えるのではなく障害をそもそも意識しないようになるのが大切だと思います。小金井市は村社会的な部分が残っているのでまずは誰でも受け止めるところから変わってほしいです
- ・ 小学生の子どもからの要望があったので、こちらに書きます。「府中の森公園の、丸いブランコみたいな遊具を、他の公園にもつけて欲しい」「静電気が起きる滑り台はだめ」「木馬公園に、普通のブランコでもいいからつけて欲しい」だそうです
- ・ 小一の息子が公園が好きなので 市内の色々な公園に行きます 息子は元気いっぱいタイプで人見知りもなくみんな友達と思って話しかけるので 色々なタイプのお子さんから大人まで一緒に遊ぶことがあります
- ・ 遊具があればそれで遊ぶし なければ走り回し 声をかけて一緒に遊べれば遊ぶし 無理そうなら諦めるし でも時々途中から遊ぶこともあったり 結局どんな人同士でも きっかけやウマが合う時があり 自然に関わって行けるのがインクルーシブだなと思いました
- ・ ただそのきっかけづくりの 1 つとして プレーパークの常設だったり 色々な人が参加出来るイベントだったりがあったらいいなと思います 小金井市には大小公園たくさんあるのでそれぞれで特徴を作っていくのも面白いかもしれません 考えるきっかけになるみんなの公園会議など企画していただいて ありがとうございます ぜひ 続けて開催していただけたら嬉しいです

4. 自由意見の整理

4.1 公園に関する自由意見（良いところや悪いところなど）

アンケートにて子どもと大人のそれぞれに自由回答で公園に関する自由意見を伺い、類似する見等について分類・整理した。

子どもからは21人、大人からは47人に意見をいただいている。

複数の要素を含む回答については、再掲している場合もある。

また、子どもの回答では親が代筆している場合と、親の回答に子どもの意見が追記されている場合があった。

(1) 遊具に関する意見

- ・ ブランコの設置を希望する意見が子ども、大人共に多い。
- ・ 全体的に遊具の増設、充実を望む声が多い一方で、遊具を望まない意見もある。

1) 子どもの自由意見

野川公園を見習って広場もあっていいけどもう少し遊具を多くした方が良い。
ブランコが大好きです。
ジャングルジムがすきです。
ブランコが人気なので、なかなか遊べない。
人気の遊具は混んで入れ替え制で並ぶ、もっと色んな公園にあったら混まないのに。母代筆
家からは栗山公園が近いので、回る遊具やブランコが無いので作ってほしいです。

2) 大人の自由意見

野川公園を見習って広場もあっていいけどもう少し遊具を多くした方が良い。
ブランコが大好きです。
ジャングルジムがすきです。
ブランコが人気なので、なかなか遊べない。
人気の遊具は混んで入れ替え制で並ぶ、もっと色んな公園にあったら混まないのに。母代筆
家からは栗山公園が近いので、回る遊具やブランコが無いので作ってほしいです。
栗山公園にある様な大型アスレチックが他の公園にもあるとありがたい。大人の手を伸ばしやすいデザインになっていて側で見守ってあげられるので。
中学生以上の子が遊べるトランポリンがあるといい。自閉症でトランポリン好きな子は多いと思う。
人口遊具の必要性はあまり感じません。
インクルーシブ用の遊具を増設する場合、ブランコなどは乗れる数が減ると混んでしまって、結局皆乗れず本末転倒になるので、一人で長く遊ぶような遊具は数を減らさず差し替えてほしい。
インクルーシブ公園のブランコも座面が直角で座り心地が悪く不安定なので、自由に角度を変えて乗れるなどアレンジができたらいなと思います。
キャスパーブランコを是非取り入れて欲しいです！！
貫井北町5丁目周辺に子どもたちが集まって遊べる公園がないため、遊具の充実した公園を設置して欲しい。
小学生の子どもからの要望があったので、こちらに書きます。「府中の森公園の、丸いブランコみたいな遊具を、他の公園にもつけて欲しい」「静電気が起きる滑り台はだめ」「木馬公園に、普通のブランコでもいいからつけて欲しい」だそうです。

(2) ルールに関する意見

- ・ 子ども、大人共に現状ボール遊びができないと感じている意見が多い。
- ・ タバコの吸い殻やゴミのポイ捨て等利用者のマナーに対する意見もある。

1) 子どもの自由意見

ドッチボールをやることが多いのでボール使用ありの公園があると嬉しいです。
キャッチボール
ボール遊びができる場所がない。
ボール遊びができる公園が少ないため、そのための環境整備を行ってほしい
ボール遊びができる公園がほしい
ボール遊びができる公園が少ないので増やしてほしい

2) 大人の自由意見

公園でよくタバコの吸い殻を見かけます。子どもが遊ぶ場所ですし、誰でも気持ちよく使うために禁煙を徹底していただきたいです。せめて自身で出したゴミは自分で捨てるようにして欲しいです。小金井は喫煙スペースがないため、道で歩きタバコをして公園などで捨ててる人をよく見かけます。喫煙スペースを設けるなどして公共の場で吸うことを少なくして欲しいです。
最近、思いっきり遊べる公園が少ないです。特に小金井市ではボール遊びができる公園が少なく、そのせいか東京都はスポーツテストでも平均が低い傾向にあります。
近隣に迷惑などの理由であれば、一方的にその意見に従うのではなく、それを改善できる、お互いが歩み寄れる妥協策を探していける仕組みができるといいと思います。
スペースがあるのにボール遊びが禁止されている公園がありすぎると思います。
使われない公園ではなく、使いやすい公園が増えることを願っています
「インクルーシブ」という言葉に踊らされる前に、一般的な公園をまずしっかり整備してほしい。遊具は古く点検を受けた後は長い間使用禁止、安全な柵のある場所は少なく子どもは飛び出し、ボール遊びが安心してできる場所もなく、ゴミが散乱しているところが多い。
「インクルーシブ」以前に問題が山積している。小金井市の公園は他市と比べて整備状態がすこぶる悪い。
何回も来ないと分からない その公園ごとのルールみたいなものもあります 例えば 近所の人から苦情が出てここでボールは使えないんだよ とか言われたりします
遊具の整備や地面整備も必要ですが、どんな人も一緒にボール投げ（ドッジボールなど）が出来る場所を確保して頂けるとありがたい。公園内広場に金網等のフェンスを付けて、乳幼児の遊び場にボールが飛んで行かないようにする工夫があると良い。また、ボール遊びの場所だけ遊具の場所から見えないほど離れてしまうことなく、隣接していることが望ましい。
小金井市に越してきて感じた事は、清掃が行き届いていなく、ベンチ付近にはタバコの吸い殻が沢山落ちていること。安心して小さい子を遊ばせられないな…と思いました。
近隣の府中市には子どもしか入れない遊具のある公園、係りの方がいる公園、国分寺市には、NPOの遊びの場があり、こういった場があれば良いな…と思います。
是非、子どもに優しい小金井と自慢できる市にして欲しいです。

(3) 植物に関する意見

- ・ 現況の自然環境の保全を求める意見が多い。
- ・ 子どもの自由意見では植物に関する意見は無かったが、大人の自由意見からは3件の意見があった

1) 大人の自由意見

子供達が大人になってもいまの自然の姿を維持してほしい。あまり工事を繰り返して変えて欲しくないです。

地方自治体によっては 公園整備や防災対策と言って 貴重な動植物の生息地をたださえ少ないのにさらに開発でそういった場所を減らすところがあるようです。都心からこれだけ近くにこのような貴重な自然環境が残っている場所は本当に少ないです。小金井で生まれ育った方は実感しないかもしれませんが今この市で残っている自然環境は大変に貴重なものです。そういったものを残せるような公園の整備をすべきであると強く強く考えます。

世界的に大変な気候変動の時期に、自然を破壊する公園づくりではなく、緑を担保する稀少部分であることも前提としてほしい。子どもたちにも人間も自然の一部であることを体現できる場にすることを求めます。ハンディを持っていたとしても同じです。

(4) 設備に関する意見

・現況の公園設備では、天候の変化があった場合の利用や、長期滞在することが難しいと感じている意見が多い。

・以下の設備の新設を求める意見がある。

- ベンチ
- テーブル
- 水道（石鹸）
- トイレ（ユニバーサルベッド、チェンジングボード）
- 柵
- リハビリテーション設備

1) 子どもの自由意見

水道に石鹸を置いて欲しい

ベンチがなかったらかなしいです。

あかるいトイレがよいです。

友達と一緒にのお菓子を食べたいと思った時にテーブルがあった方がいいと思いました。

汚れたときに汚れを落とすためのキレイな水が必要だと感じる

2) 大人の自由意見

ユニバーサルベッドのあるトイレが、公園内、もしくは近くの施設に必要です。
雨の日でも遊べる場所があれば助かるといつも思っています。他の自治体であれば土日祝も遊びに行ける児童館がありますが、小金井市にはありません。日祝に公園へ遊びに行くとしてもお天気が悪いといけません。たとえば武蔵境のポッポ公園のように、高架下に遊具のあるスペースがあると嬉しいです。小雨の日曜日にポッポ公園に行った時、同じく小金井市から来た人に会いました。その方も同じように「市内に雨の日祝に遊べる施設がない」と話していました。幸い、国立や府中には日祝開館し、市外の人も受け入れてくれる児童館がありますが、そちらにたより切っているのでしょうか。スタッフの休日のこともありますので、児童館を日祝開けて欲しいわけではないですが、みんなが遊べる公園作りを今後していくのであれば、お天気の影響を受けずに思い切り遊べる公園が欲しいという声も取り入れていただけると嬉しいです。
小学生の子供達だけで長く遊べるためにトイレの設置やベンチ(特に雨や日差しを遮る屋根付き、テーブル付きのもの)が多くあるといい
「インクルーシブ」という言葉に踊らされる前に、一般的な公園をまずしっかり整備してほしい。遊具は古く点検を受けた後は長い間使用禁止、安全な柵のある場所は少なく子どもは飛び出し、ボール遊びが安心してできる場所もなく、ゴミが散乱しているところが多い。 「インクルーシブ」以前に問題が山積している。小金井市の公園は他市と比べて整備状態がすこぶる悪い。
公園で遊ぶこと以外の目的で利用していることを考慮すべき。本アンケートはインクルーシブ公園といいつつも遊ぶことが第1として、それ以外の利用をアンケート項目から排除している。リハビリテーション設備や器具が市内の公共施設に無く、トレーニングすることが困難である。 パラスポーツ向けの器具については持ち込みできるどうかの基準が明確ではない。車椅子の動作訓練や、ブラインド向けのサウンドトレーニングは、専有利用が必須になるが、そういった用途を想定されてない。 ボール遊びについて年齢で区切られているが、障害は年齢ではないので、ある年齢を超えた機能障害者はキャッチボール訓練ができなくなる。このように公園利用の規則や規約がインクルーシブになっていない。 受益者負担として、設備利用の有料化も考えるべき。遊具や器具の専有利用の仕組みも制度化すべき。器具や設備の有無ではなく、健常者との衝突を避けるため同時に使いたくない需要もある。
子供用トイレや専用トイレ等、使いやすいトイレを充実させてほしい。紙パンツが外れていない子の紙パンツを立ったまま交換したり、トイレ終わりで下を全部脱がなければトイレができない子の親が容易に服を脱がせれる用にチェンジングボードの設置をお願いしたい。 子供達が安心して安全に使えるトイレが増える事を願っています。
インクルーシブに配慮の前に、小金井市の公園のトイレと水道の整備を希望します。貫井坂下の大きな公園と言えば団地公園ですが、遊びに来る子どもが多いのに水道すら使えなくて不便です。市ではなく、団地の管理なので、使えないとのことですが、市が水道を管理し、(水道代を市が出す)などして解決策を考えてほしいです。とにかく不便。手を洗いたい時はわざわざコンビニへ行っています。水道やトイレを設置する事で災害対策にもなるのではと思います。ぜひ検討してほしいです。
急な天候変更や子どもの体調変化に対応できる、屋内休憩所、カフェ、冷暖房が効いているスペース。軽食や保冷剤が買える所があると、安心して利用できる
遊具の整備や地面整備も必要ですが、どんな人も一緒にボール投げ(ドッジボールなど)が出来る場所を確保して頂けるとありがたい。公園内広場に金網等のフェンスを付けて、乳幼児の遊び場にボールが飛んで行かないようにする工夫があると良い。また、ボール遊びの場所だけ遊具の場所から見えないほど離れてしまうことなく、隣接していることが望ましい。

(5) 安全・安心に関する自由意見

- ・ 子どもの飛び出し防止のため、囲いの設置を求める意見が多い。
- ・ 子どもだけでも安心して遊べる環境、整備を求める意見もあった。

1) 子どもの自由意見

囲いがあってすぐに道路などに出られない方が追いかけてやすい。

知らない人に声をかけられて怖い思いをしました。子供だけで遊ぶことがよく見られる時間帯は、誰か大人の人が必ず見守ってくれると安心です。

子供が2歳ぐらいの時、遊んでいる時に、突然道路の方にてしまったことが怖かった。囲いがされてる公園がもっとあるといいと思う。

2) 大人の自由意見

近年では、外遊びの機会が減少している中で素晴らしい取り組みだと感じました。

子供同士でも安心して公園で遊べるように、地域のセキュリティも含めた整備も同時に進めばと思います。

(6) アクセスに関する自由意見

- ・ 無料駐車場を求める意見が多い。

1) 子どもの自由意見

足が不自由なので駐車場がないと（連れて）いけない。都立公園のように手帳で駐車料金が減免（遠隔確認）になる所は行きやすい。母代筆

2) 大人の自由意見

地域によっては公園が遠いため無料駐車場が欲しい。

まず基本的に小金井の公園には駐車場が無い、もしくは都立公園は1時間300円と毎日通える値段ではない為、子供が2、3人いて、ベビーカーがある場合、近くの公園で遊ばせる事しかできません。

その公園に遊具がない、狭い、高学年の方がいると何も出来ません。

良い公園が目の前の方は良いですが、結構深刻な悩みです。

公園を大きくするのは難しいと思うので、私達がそういう公園へ行くとして、せめて都立公園は市内の方は駐車場無料にしていきたいです。

よろしく願いいたします。

(7) インクルーシブに関する自由意見

- ・ インクルーシブな公園整備に関して前向きな意見が多い。
- ・ 一方で障がいを持つ子どもとそうでない子どもで遊ぶ場所、時間等の住み分けを望む意見も見られる。

1) 子どもの自由意見

ターザンロープや複合遊具についている滑り台は、障害のある子にとっては、皆がどう並んでいるのかわかりにくい場合があって、滑り台自体はひとりでできる能力があっても、列の最後尾や見えないルールわからず、ひとりで参加し辛いことがあります。どう並んでいるのかが、パッと見て分かりやすい列ができるような遊具だと助かります。(横入りしにくい幅の一本道など。)

中身が幼くても体格差で小さな子にケガをさせないか心配なため、大きい体の人用など分けるほうが安心。

看板で障がいの様子（大声が出ちゃうのは楽しいだけだよ、とか）がお知らせしてあると伝わりやすい
多くの遊具は対象年齢が書かれているけど、障害児なので小さい子用の遊具で遊びたいのに、体は大きいので遊べない。対象年齢+ヘルプマーク(OK)の表示にしてもらいたい。母代筆

公園会議の動画にあったように、大病院があり障害の子が多く来る地域など利用者層を考えた作りだといい(特別支援学校の近くとか)。母代筆

2) 大人の自由意見

インクルーシブな環境が早く実現することを望んでます(現在 三鷹 武蔵野の中央線の高架下にあるように)

普段の生活のなかで、障害児者との関わりがあり、いろんな人がいて当たり前という感覚を大人も子どもももつことが大切だと思います。公園だけでなく、教育、福祉、市の取り組みすべてにおいてインクルーシブな考え方が当たり前になることを望みます。

誰でも使いやすい遊具や遊歩道等を色々と整備するよりは、広い平坦な芝生の広場やグラウンドとベンチとトイレがあれば、誰でも使いやすい公園になるのではないのでしょうか。植栽等についても最小限にして、できる限り人が遊べる面積を増やすことで、人との距離が開き、結果的に誰でも安全に遊べる空間になると思います。暫定整備の梶野公園は小さい子供でも比較的遊びやすいです。

小金井には市の事業でプレーパークがあるのですから、それを活かして今後は市立公園でのプレーパークがインクルーシブ公園になったらいいと思います。プレーリーダーは子どもの声を聞きそれを形にする事が得意ですから、子どもが参画する場づくりにもなります。

障がい児を育てる親としては、「障がいあるなしに関わらずみんなで楽しくハッピーに公園を一緒に楽しむ」ということは、現段階では正直非現実的なケースが多いです。公園自体が整っていても、保護者同士、子ども同士の気持ちがそこに追いついていないために、結局障がい児の親が心身疲弊してそこに気持ちが向かなかったり、差別がうまれてしまう、などです。

現状で障がい児の親が求めることは、障がい児だけが利用できる時間帯や場所が設けられていること(人数制限や様々な危険を回避できる対策含めて)。そういった環境の中でなら笑顔で過ごせるケースが増えるのではないかと想像します。

インクルーシブの環境づくりは、当事者と当事者以外の考え方を同じにしていくような教育を地道に続けた先に真の成立があると考えています。

そこに辿り着くまでは、時間がかかっても、当事者の声をきちんと聞き、現実の問題を徐々に緩和していきながら調整して理想に近づけていく段階が必要不可欠なのではと思います。

公園で遊ぶこと以外の目的で利用していることを考慮すべき。本アンケートはインクルーシブ公園といいつつも遊ぶことが第1として、それ以外の利用をアンケート項目から排除している。リハビリテーション設備や器具が市内の公共施設に無く、トレーニングすることが困難である。

パラスポーツ向けの器具については持ち込みできるかどうかの基準が明確ではない。車椅子の動作訓練や、ブラインド向けのサウンドトレーニングは、専有利用が必須になるが、そういった用途を想定されてない。ボール遊びについて年齢で区切られているが、障害は年齢ではないので、ある年齢を超えた機能障害者はキャッチボール訓練ができなくなる。このように公園利用の規則や規約がインクルーシブになっていない。受益者負担として、設備利用の有料化も考えるべき。遊具や器具の専有利用の仕組みも制度化すべき。器具や設備の有無ではなく、健常者との衝突を避けるため同時に使いたくない需要もある。

医療的ケア、特に、常に繋がっている機器がある子は、どんな遊具でも他の方のサポートが無いと利用するのはとても難しい。ひとりならともかく、もう1人いると更に難しい。

健常児のご家族には、目に見えない障害を持つ子供に対しての理解が難しい。大声を出す、ルールが守れないもしくは理解が難しい等。そのために健常児から意地悪をされたり、怒鳴られたり、健常児の親御さんから嫌味を言われたり、と悲しいことが多々あった。そうしたことがないよう、障害児が安心して楽しく過ごせる公園にして欲しい。難しいとは思いますが、そのように願っている。

年齢差のある子供たち、障がいのある子供達、様々な子供が同じ空間で遊べる場所を希望します。

我が家は、上が軽度の知的障害を伴う自閉症(多動、会話は3語文程度、人とのコミュニケーションが苦手、大きな音や子供の騒ぐ声が苦手)、下が定型発達の子供がいます。

小金井公園が好きで二人とも行きたがるのですが、やはり上の子の障害が原因で難しいです。

思い通りにいかないと癇癢を起こしたり、そもそも言葉や会話の内容が理解できないので事情を知らない周りからルールを守ってと責められたり本人も辛いです。

(うちの子は小児科の先生でも言わないと障害があるとは分からない感じで、話し方などで分かるタイプです)

2人一緒に行ける時は上の子に夫が、下の子に私が付き添える時だけです。

なので障害の有無にかかわらず遊べる場所が欲しいです。

障害があると本当に運動する機会が少ないと感じています。

定型の子は体育、学校の休み時間、放課後などお友達と体を動かして遊ぶ機会が当たり前にあります。

でも支援学校に通う程度の障害だとまず人との意思疎通が難しく、お友達を作ってそこから約束をし体を動かして遊ぶなんて夢のまた夢です。

下の子も周りの目が気になる年齢に差しかかり、たまに周りの目に辛くなる時出てきました。

せめて家族という時は二人とも周りの目を気にせず、のびのびと当たり前に休みの日に家族で公園で遊ばせてあげられたらなと思います。

希望としては、柵のある遊具広場で障害のある子、ない子が時間などで分けて遊べると助かります。

あとは定型の子供同士でも乳幼児、幼児、低学年、高学年など年齢別に遊べる場所があればいいなと思います。

小金井公園のふわふわドーム、高学年の子供達がめっちゃくちゃに走り回って強くぶつかられたり、強いジャンプの反動で投げ出されてしまったりで毎回酷いので利用できなくなりました。

高学年の子供達は親御さんの付き添いも無く、いらしても何の注意もなかったり残念です。

差別ではなく区別はとても大事だと思います。

障がい者を分けないませこぜの社会をつくるのが大事。公園が誰にとっても居場所となることを願います。

小一の息子が公園が好きなので市内の色々な公園に行きます 息子は元気いっぱいのタイプで人見知りもなくみんな友達と思って話しかけるので色々なタイプのお子さんから大人まで一緒に遊ぶことがあります 遊具があればそれで遊ぶし なければ走り回るし 声をかけて一緒に遊べれば遊ぶし 無理そうなら諦めるし でも時々途中から遊ぶこともあったり

結局どんな人同士でも きっかけやウマが合う時があり 自然に関わって行けるのがインクルーシブだなと思いました

ただそのきっかけづくりの1つとして プレーパークの常設だったり 色々な人が参加出来るイベントだったり があったらいいなと思います 小金井市には大小公園たくさんあるのでそれぞれで特徴を作って行くのも面白いかもしれません

考えるきっかけになるみんなの公園会議など企画していただいて ありがとうございます

ぜひ 続けて開催していただけたら嬉しいです

(8) その他の自由意見

1) 子どもの自由意見

困ったこと:梶野町くぬぎ公園は楽しい遊具があるが蚊がたくさんいて5分も遊べないことがあった
すべりだいのしたがみずたまりであそべないからなんとかして
夏季は日中暑いので朝や夕方に使いたいけど利用時間が限られている(小金井公園ふわふわドーム)。夏はナイター営業してもらいたい。母代筆
府中の森公園は冬は池が凍り、鴨が氷上を歩く姿を見るのが大好き(たまに氷の割れ目に落ちる)。郷土の森公園の池の鯉や鴨を見るのも好き。母代筆
公園のおかげで色々な人と仲良くなれました。
冬以外は、蚊が大量にいて、嫌だから。母代筆
また、本町4丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のおばさんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない。母代筆
公園で遊んでいると、おばさんが盗撮をし、そのうえ、色々な理由で公園で遊ばないようにさせられます。そのため、家の近くや、家の中で遊んでいますが、運動ができません。どうか遊べるようにしてください。
小金井は小さな面積なので、遊具がある公園、水遊びできる公園、野球とかテニスができる公園がそれぞれ1個あればいいと思いますが、それぞれを充実させて欲しいです。水遊びもできる公園も欲しいです。

2) 大人の自由意見

公園管理の民営化はまだ課内検討中なのですか
他の市町村にあるような同じような公園を作るのでは全く意味はありません。小金井市 独自の公園の整備計画を 熟慮していくべきだと思います。
イラスト1枚目のフリガナに誤字がありましたので、念の為お伝えします。(イラスト右下、知り合えるのフリガナ)
設問からも、インクルーシブ公園には遊具や場の設えだけでなく、人と人の関りが大事だとのお考えが伝わり嬉しくなりました。
こども基本法11条にもかなう事業になりますね。期待しております。
小金井には市の事業でプレーパークがあるのですから、それを活かして今後は市立公園でのプレーパークがインクルーシブ公園になったらいいと思います。プレーリーダーは子どもの声を聞きそれを形にする事が得意ですから、子どもが参画する場づくりにもなります。
インクルーシブな公園を作るという大きな目標はステキです。ですが、その前に、公園が地域によっては全くないところあるので、それも考えて欲しいです。ちなみに当方は第一町会の地域ですが、公園がありません。諸事情あるのかも知れませんが不平等を感じますし、防災の観点からも不安を感じます。
自主性を尊重して自由に開放した上で、実際に利用する人が楽しく過ごしているかどうかは、時々確認するのもいいかもしれません。元の方針が良ければ、共感して公園を大事にしようという人が増え、雰囲気よくなるのではないかと思います。障害児と健康児という区分けだけでなく、今は足の悪い方、車いすの大人も増えていると感じるので、多くの方が過ごせるように考え続けるのは素晴らしい姿勢で、結果的に共感する人が増えれば行政もやりやすくなるのでは？と思います。斎藤幸平著『コモンの「自治」論』という書籍で、どうやって新しく自由な自治を作って行くかの話が興味深かったことを思い出しました。自分達がつくっていくという意識は、これからの時代とても大事だと思います。それを支えてくれる柔軟な考えの行政の人がいて行動してくれる小金井市は、幸せですね。応援しています。
インクルーシブは理想であるが、実際に利用しているのはどこも健常児がほとんど。障害児施設と近隣幼稚園、小学校などを同時に招いて、一緒に遊ぶにはどうしたらいいかを学ぶ日を設けるなど、利用者への働きかけが必要不可欠だと考える。バリアフリーに作ったらからと言って、肢体不自由や重度知的の障害者が実際に利用することは、殆ど不可能だという事が全く知られていない。
今のような作るだけの公園であれば、障害者施設の校庭の遊具を、土日に開放する方がよほど有意義だと思う。
一つの公園に役目を集約するのではなく、ポール遊びするならA公園、砂遊びするならB公園…など各公園に役割を分散して欲しいです。葛飾区はネット完備でサッカーOKの公園が多数あります。東屋やベンチがあると動画撮影者が多いので、そのような公園は完全に大人向けとしても構いません。
乳児とゆっくりしたい、犬と走り回りたい…それぞれの特徴に特化した公園が点在し、棲み分けられるのが理想です。
小金井は公園が少なすぎる。小金井公園で事足りてると小金井市は思いこんでいる。
小金井には大きな公園だけでなく、小さな公園もたくさんあるので、そこを有効活用できたらいいのと思っていました。小さな遊歩道もあるのに、全く活用されてなくて、もったいないと思います。
栗山公園、桜町公園の手を洗う水道の排水が、土や砂でよく詰まっています。役所に電話したこともあります。改善されることを期待します。
本町4丁目の桜公園の横にある白いコンクリートの家のおばさんが、公園で子供が遊んでいるとクレームを付けてきたり、子供たちの写真を撮るから、安心して遊ばせられない。
昨今インクルーシブという言葉が先走りしすぎて嫌悪感を感じます 海外の公園や葛西臨海公園のように自然とバリアフリーが整えられ利用者同士も必要があれば手助けするという意識が根付いているのが理想です。遊具などのハード面は考慮する必要がありますがそれ以外はあまり頭で考えるのではなく障害をそもそも意識しないようになるのが大切だと思います。小金井市は村社会的な部分が残っているのですまずは誰でも受け止めるところから変わってほしいです。